

令和5年中における自殺の状況

令和6年3月29日

厚生労働省自殺対策推進室
警察庁生活安全局生活安全企画課

令和5年中における自殺の状況 目次

第1章 令和5年中における自殺の概況	· · · 1	第2章 令和5年中における自殺の内訳	· · · 18
図表1－1（1）自殺者数の前年比較（1）	· · · 2	図表2－1 性別、年齢階級別、職業別の自殺者数前年比較	· · · 19
図表1－1（2）自殺者数の前年比較（2）	· · · 3	図表2－2 自殺の原因・動機についての前年比較	· · · 19
図表1－2 自殺者数の年次推移	· · · 5	図表2－3 年齢階級別、職業別自殺者数	· · · 20
図表1－3 自殺死亡率の年次推移	· · · 6	図表2－4 年齢階級別原因・動機	· · · 21
図表1－4 月別自殺者数の推移	· · · 7	図表2－5 職業別原因・動機	· · · 22
図表1－5 年齢階級別自殺者数の年次推移	· · · 8	図表2－6 都道府県別自殺者数及び自殺死亡率	· · · 23
図表1－6 年齢階級別自殺死亡率の年次推移	· · · 9	図表2－7 都道府県別、性別、年齢階級別、職業別の 自殺者数、及び都道府県別の原因・動機	· · · 24
図表1－7 職業別自殺者数の年次推移	· · · 10	図表2－8 都道府県別、月別自殺者数	· · · 25
図表1－8 自殺の原因・動機の年次推移	· · · 11	図表2－9 東日本大震災に関連する自殺者数	· · · 26
図表1－9 都道府県別自殺者数の前年比較	· · · 12	図表2－10 年齢階級別自殺死亡率の推移	· · · 27
図表1－10 都道府県別自殺死亡率の前年比較	· · · 13	図表2－11 職業別自殺者数の推移	· · · 27
図表1－11 小中高生の自殺者数の年次推移	· · · 14	図表2－12 自殺の原因・動機の推移	· · · 27
図表1－12 小中高生の自殺者数の年次推移（性別）	· · · 15	図表2－13 自殺者数及び自殺死亡率の推移	· · · 28
図表1－13 小中高生の月別自殺者数の推移	· · · 16	図表2－14 年齢階級別自殺者数の推移	· · · 29
図表1－14 小中高生の自殺の原因・動機	· · · 17	図表2－15 小中高生の自殺者数の推移	· · · 30
		図表2－16 職業別自殺者数	· · · 31

※ 本資料の作成に用いる人口は、令和6年2月末までに取得可能な最新のデータに基づく。

※ 本資料では、「平成31年」について、「令和元年」として統一して記載している。

第1章

令和5年中における自殺の概況

図表1－1（1）自殺者数の前年比較（1）

- 令和5年の自殺者数は21,837人であり、前年から44人減少した。
- 男性は116人増加、女性は160人減少したが、20歳代以下の若者においては、男性は減少し、女性は大きく増加した。
- 職業別にみると、有職者（282人増）は増加し、学生・生徒等（44人減）及び無職者（309人減）は減少した。
- 学生・生徒等のうち小中高生の自殺者数は前年と同水準の513人であり、男子生徒が34人減少した一方で、女子生徒は33人増加した。
- 原因・動機別にみると、最も増加したのは経済・生活問題（484件増）であり、最も減少したのは健康問題（371件減）であった。

年齢階級別の前年比較

		自殺者数	20歳未満	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80歳以上	不詳
令和5年	総数	21,837	810	2,521	2,587	3,625	4,194	2,798	2,901	2,370	31
	男	14,862	431	1,599	1,883	2,665	2,939	1,931	1,910	1,479	25
	女	6,975	379	922	704	960	1,255	867	991	891	6
令和4年	総数	21,881	798	2,483	2,545	3,665	4,093	2,765	2,994	2,490	48
	男	14,746	464	1,672	1,784	2,611	2,848	1,862	1,906	1,558	41
	女	7,135	334	811	761	1,054	1,245	903	1,088	932	7
差	総数	-44	12	38	42	-40	101	33	-93	-120	-17
	男	116	-33	-73	99	54	91	69	4	-79	-16
	女	-160	45	111	-57	-94	10	-36	-97	-41	-1

職業別の前年比較

		有職者	学生・生徒等	うち小中高生			無職者	主婦・主夫	失業者	年金・雇用保険等受給者	その他の無職者	不詳
				小学生	中学生	高校生						
令和5年	総数	8,858	1,019	513	13	153	347	11,466	1,058	1,141	5,797	3,470
	男	7,063	572	259	5	73	181	6,827	18	901	3,624	2,284
	女	1,795	447	254	8	80	166	4,639	1,040	240	2,173	1,186
令和4年	総数	8,576	1,063	514	17	143	354	11,775	1,175	1,220	6,074	3,306
	男	6,811	663	293	12	73	208	6,915	9	988	3,740	2,178
	女	1,765	400	221	5	70	146	4,860	1,166	232	2,334	1,128
差	総数	282	-44	-1	-4	10	-7	-309	-117	-79	-277	164
	男	252	-91	-34	-7	0	-27	-88	9	-87	-116	106
	女	30	47	33	3	10	20	-221	-126	8	-161	58

原因・動機別の前年比較

		家庭問題	健康問題	経済・生活問題	勤務問題	交際問題	学校問題	その他	不詳
令和5年	総数	4,708	12,403	5,181	2,875	877	524	1,776	2,388
	男	2,877	7,224	4,508	2,451	536	340	1,244	1,793
	女	1,831	5,179	673	424	341	184	532	595
令和4年	総数	4,775	12,774	4,697	2,968	828	579	1,734	2,717
	男	2,885	7,301	4,127	2,538	485	392	1,192	2,043
	女	1,890	5,473	570	430	343	187	542	674
差	総数	-67	-371	484	-93	49	-55	42	-329
	男	-8	-77	381	-87	51	-52	52	-250
	女	-59	-294	103	-6	-2	-3	-10	-79

資料：警察庁自殺統計原票データより厚生労働省作成

図表1—1(2) 自殺者数の前年比較(2)

- 原因・動機のうち最も増加した経済・生活問題の内訳をみると、生活苦(291件増)、事業不振(97件増)及び負債(その他)(89件増)が特に増加した。
 ○原因・動機のうち最も減少した健康問題の内訳をみると、病気の悩み・影響(うつ病)(221件減)及び病気の悩み(その他の身体疾患)(189件減)が特に減少した。

原因・動機別の前年比較

家庭問題		計	夫婦関係の不和(DV)	夫婦関係の不和(不倫・浮気)	夫婦関係の不和(その他の原因)	親子関係の不和	その他の家族関係の不和	家族の死亡	家族の将来悲観	介護・看病疲れ	子育ての悩み	家族からのしつけ・叱責	家族・同居人からの身体的虐待	家族・同居人からの心理的虐待	家族・同居人からの性的虐待	家族・同居人からのネグレクト	その他
令和5年	総数	4,708	93	213	860	594	465	674	597	348	198	160	5	13	3	3	482
	男	2,877	81	149	627	334	264	394	373	203	48	97	1	5	1	0	300
	女	1,831	12	64	233	260	201	280	224	145	150	63	4	8	2	3	182
令和4年	総数	4,775	99	188	874	616	471	697	619	377	223	161	9	15	4	5	417
	男	2,885	72	119	609	374	295	397	350	228	51	114	5	10	3	2	256
	女	1,890	27	69	265	242	176	300	269	149	172	47	4	5	1	3	161
差	総数	-67	-6	25	-14	-22	-6	-23	-22	-29	-25	-1	-4	-2	-1	-2	65
	男	-8	9	30	18	-40	-31	-3	23	-25	-3	-17	-4	-5	-2	-2	44
	女	-59	-15	-5	-32	18	25	-20	-45	-4	-22	16	0	3	1	0	21

健康問題		計	病気の悩み(悪性新生物)	病気の悩み(てんかん)	病気の悩み(その他の身体疾患)	病気の悩み(うつ病)	病気の悩み・影響(統合失調症)	病気の悩み・影響(アルコール依存症)	病気の悩み・影響(薬物乱用)	病気の悩み・影響(摂食障害)	病気の悩み・影響(その他の精神疾患)	身体障害の悩み	認知機能低下の悩み	その他
令和5年	総数	12,403	597	59	2,821	4,377	1,042	204	45	50	1,816	596	267	529
	男	7,224	407	41	1,957	2,233	536	153	24	13	946	405	161	348
	女	5,179	190	18	864	2,144	506	51	21	37	870	191	106	181
令和4年	総数	12,774	575	47	3,010	4,598	988	238	38	66	1,795	607	295	517
	男	7,301	401	29	2,018	2,283	497	186	26	27	946	391	185	312
	女	5,473	174	18	992	2,315	491	52	12	39	849	216	110	205
差	総数	-371	22	12	-189	-221	54	-34	7	-16	21	-11	-28	12
	男	-77	6	12	-61	-50	39	-33	-2	-14	0	14	-24	36
	女	-294	16	0	-128	-171	15	-1	9	-2	21	-25	-4	-24

経済・生活問題		計	事業不振	失業	倒産	就職失敗	生活苦	負債(多重債務)	負債(連帯保証債務)	負債(ギャンブル等)	負債(その他)	借金の立て苦	奨学金の返済苦	自殺による保険金支給	その他
令和5年	総数	5,181	558	281	28	186	1,667	792	24	389	719	79	6	38	414
	男	4,508	525	240	28	151	1,406	717	18	380	630	75	6	34	298
	女	673	33	41	0	35	261	75	6	9	89	4	0	4	116
令和4年	総数	4,697	461	360	29	218	1,376	751	13	337	630	82	10	39	391
	男	4,127	425	314	24	175	1,181	702	12	329	557	76	6	36	290
	女	570	36	46	5	43	195	49	1	8	73	6	4	3	101
差	総数	484	97	-79	-1	-32	291	41	11	52	89	-3	-4	-1	23
	男	381	100	-74	4	-24	225	15	6	51	73	-1	0	-2	8
	女	103	-3	-5	-5	-8	66	26	5	1	16	-2	-4	1	15

資料：警察庁自殺統計原票データより厚生労働省作成

勤務問題		計	職場の人間関係(上司とのトラブル)	職場の人間関係(その他)	職場環境の変化(役割・地位の変化等)	職場環境の変化(その他)	仕事疲れ(長時間労働)	仕事疲れ(その他)	解雇・雇い止め	取引先等とのトラブル	仕事の失敗	過重なノルマ・ノルマの不達成	性別による差別	その他
令和5年	総数	2,875	229	546	309	259	134	575	99	54	314	22	1	333
	男	2,451	198	427	277	226	119	486	85	51	291	18	1	272
	女	424	31	119	32	33	15	89	14	3	23	4	0	61
令和4年	総数	2,968	219	569	309	280	144	580	86	70	351	30	0	330
	男	2,538	181	464	272	228	124	491	81	66	313	26	0	292
	女	430	38	105	37	52	20	89	5	4	38	4	0	38
差	総数	-93	10	-23	0	-21	-10	-5	13	-16	-37	-8	1	3
	男	-87	17	-37	5	-2	-5	-5	4	-15	-22	-8	1	-20
	女	-6	-7	14	-5	-19	-5	0	9	-1	-15	0	0	23

交際問題		計	失恋	不倫・浮気	結婚に関する悩み	交際相手からの暴力(DV)	ストーカー行為等	その他
令和5年	総数	877	414	143	65	4	10	241
	男	536	264	77	47	0	8	140
	女	341	150	66	18	4	2	101
令和4年	総数	828	384	139	74	4	6	221
	男	485	250	66	43	0	6	120
	女	343	134	73	31	4	0	101
差	総数	49	30	4	-9	0	4	20
	男	51	14	11	4	0	2	20
	女	-2	16	-7	-13	0	2	0

学校問題		計	学業不振	入試に関する悩み	進路に関する悩み(入試以外)	いじめ	学友との不和(いじめ以外)	教師との人間関係	性別による差別	その他
令和5年	総数	524	159	46	145	6	78	9	2	79
	男	340	111	31	103	3	37	4	1	50
	女	184	48	15	42	3	41	5	1	29
令和4年	総数	579	191	51	166	10	79	11	1	70
	男	392	144	38	113	5	39	8	1	44
	女	187	47	13	53	5	40	3	0	26
差	総数	-55	-32	-5	-21	-4	-1	-2	1	9
	男	-52	-33	-7	-10	-2	-2	-4	0	6
	女	-3	1	2	-11	-2	1	2	1	3

その他		計	犯罪被害	犯罪発覚等	SNS・インターネット上のトラブル	性的少數者であることの悩み・被差別	孤独感	近隣との関係	後追い自殺	その他の者からの虐待・暴力被害*	その他
令和5年	総数	1,776	25	294	26	28	663	69	117	8	546
	男	1,244	16	260	17	18	447	59	69	4	354
	女	532	9	34	9	10	216	10	48	4	192
令和4年	総数	1,734	11	248	33	31	673	58	108	3	569
	男	1,192	5	218	18	24	439	34	66	2	386
	女	542	6	30	15	7	234	24	42	1	183
差	総数	42	14	46	-7	-3	-10	11	9	5	-23
	男	52	11	42	-1	-6	8	25	3	2	-32
	女	-10	3	4	-6	3	-18	-14	6	3	9

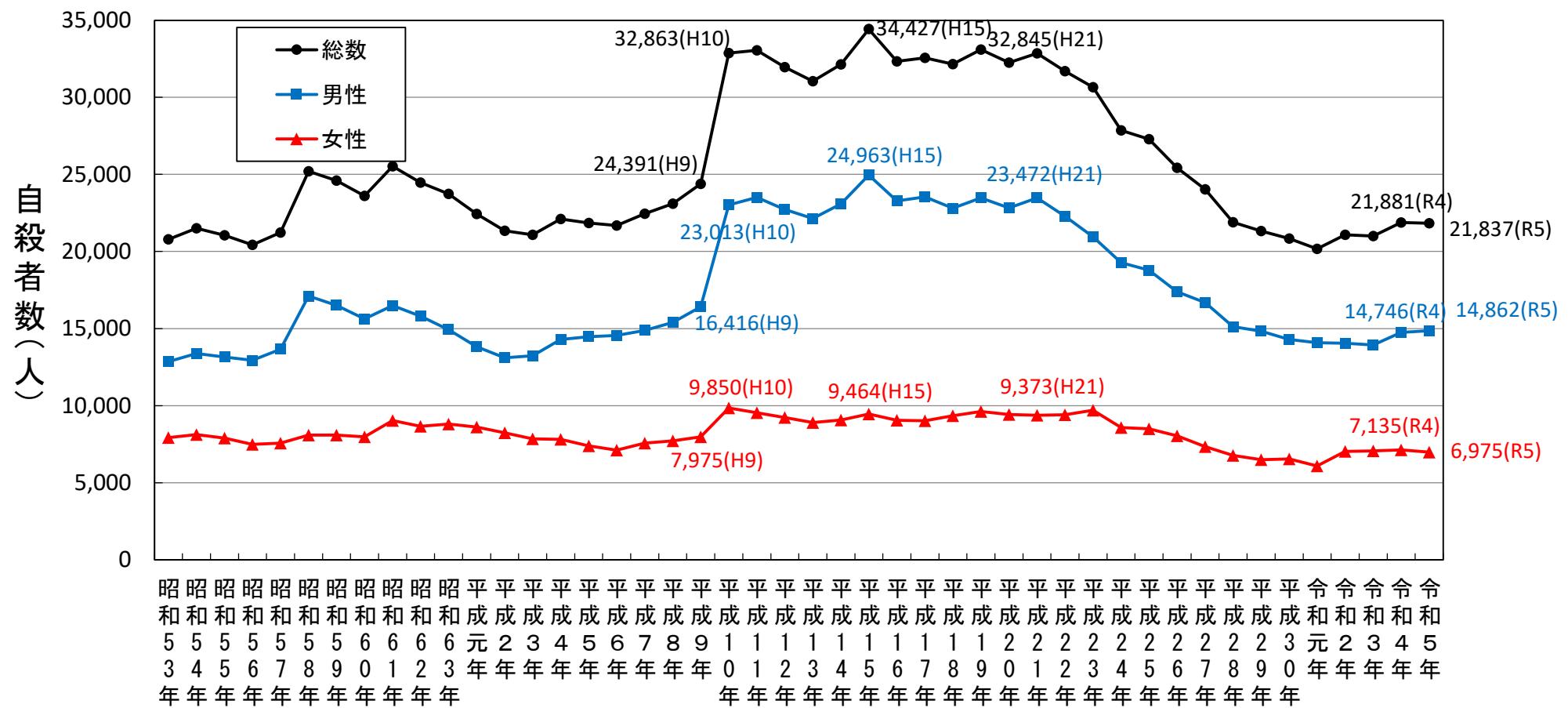
*正式な項目名は「その他の者（家族、同居人、交際相手以外）からの虐待・暴力被害」である。

資料：警察庁自殺統計原票データより厚生労働省作成

図表 1-2 自殺者数の年次推移

○令和5年の自殺者数は21,837人で、前年と比べ44人（0.2%）減少。

○男女別にみると、男性は2年連続で増加したが、女性は4年ぶりに減少した。また、男性の自殺者数は、女性の約2.1倍となっている。

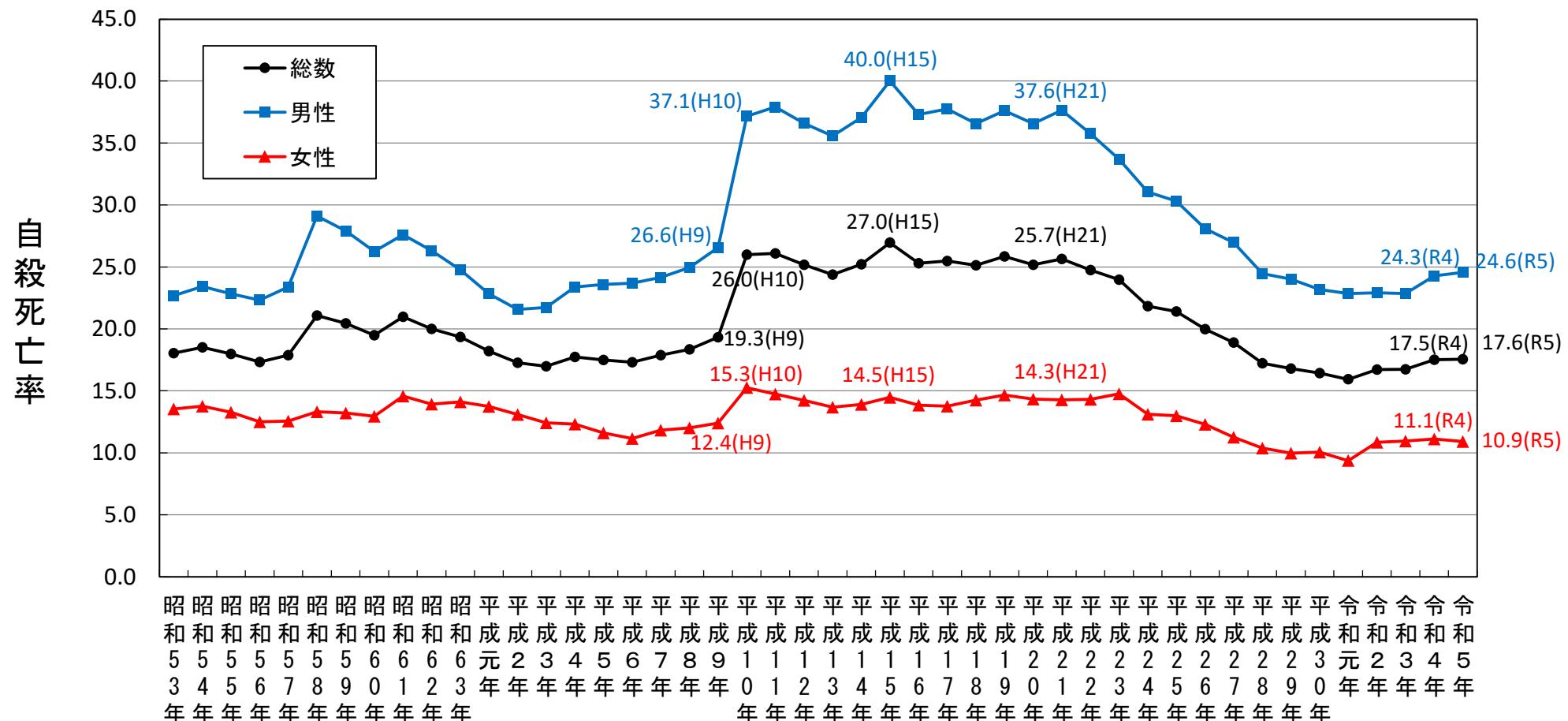


資料：警察庁自殺統計原票データより厚生労働省作成

図表 1－3 自殺死亡率の年次推移

○令和5年の自殺死亡率は17.6となり、前年と比べ0.1ポイント上昇した。

○男女別にみると、男性は24.6で前年と比べ0.3ポイントの上昇、女性は10.9で前年と比べ0.2ポイントの低下となった。



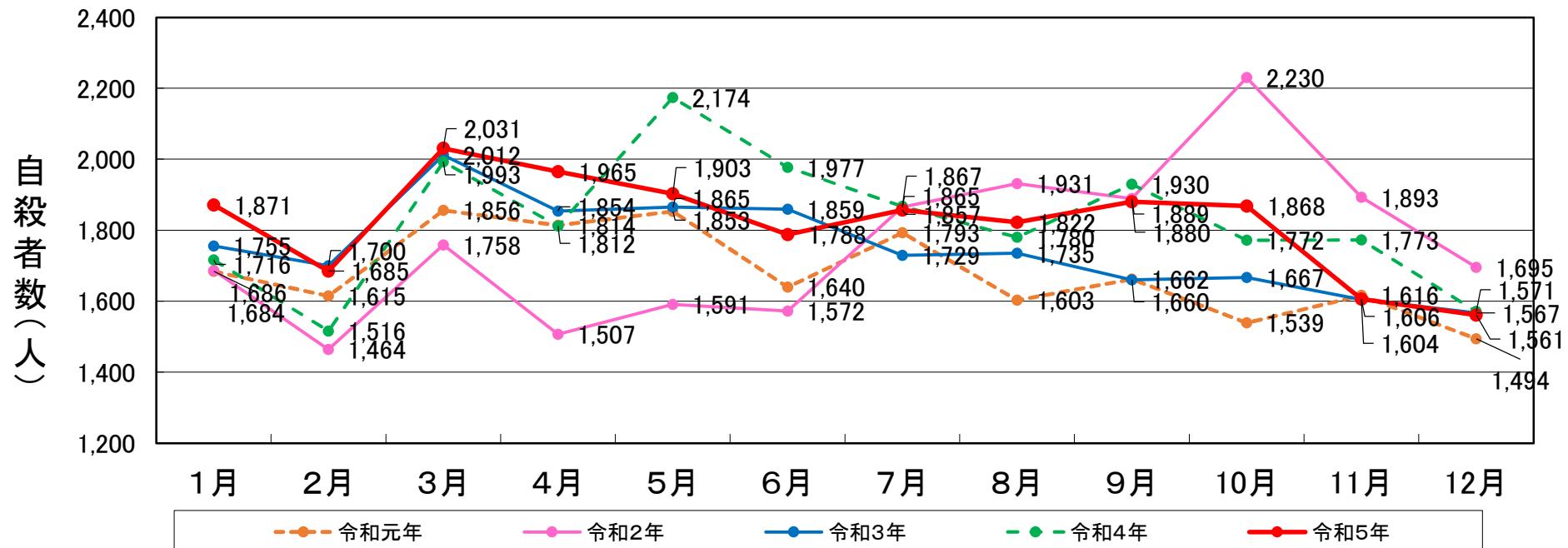
※ 自殺死亡率は、人口10万人当たりの自殺者数である。

資料：警察庁自殺統計原票データ、総務省「人口推計」より厚生労働省作成

図表 1－4 月別自殺者数の推移

○令和5年の月別の自殺者数は、3月（2,031人）が最も多く、12月（1,561人）が最も少なかった。

○令和5年の1月（1,871人）、3月（2,031人）及び4月（1,965人）の自殺者数は、直近5年間で最多となった。

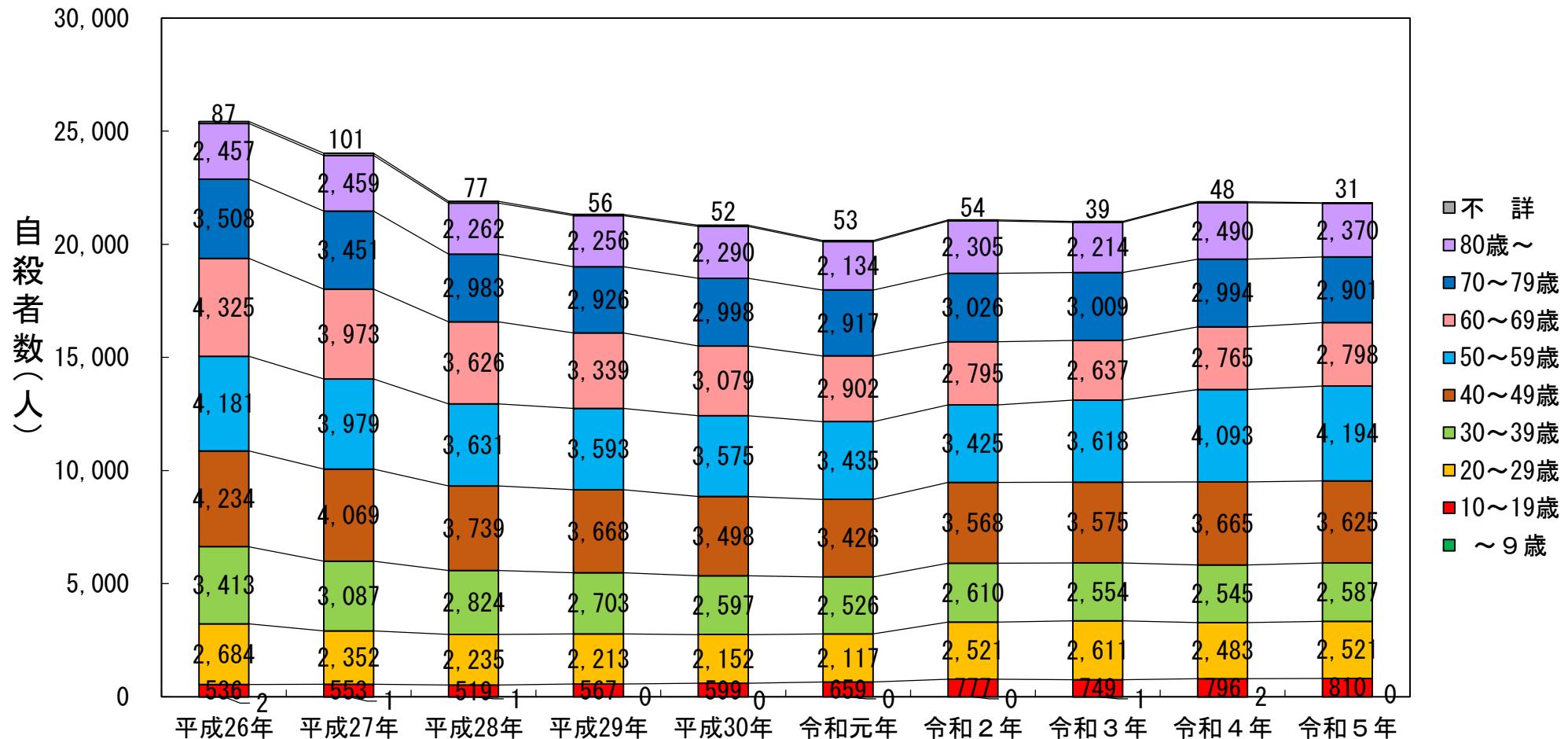


年次\月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
令和元年	1,684	1,615	1,856	1,814	1,853	1,640	1,793	1,603	1,662	1,539	1,616	1,494
令和2年	1,686	1,464	1,758	1,507	1,591	1,572	1,865	1,931	1,889	2,230	1,893	1,695
令和3年	1,755	1,700	2,012	1,854	1,865	1,859	1,729	1,735	1,660	1,667	1,604	1,567
令和4年	1,716	1,516	1,993	1,812	2,174	1,977	1,867	1,780	1,930	1,772	1,773	1,571
令和5年	1,871	1,685	2,031	1,965	1,903	1,788	1,857	1,822	1,880	1,868	1,606	1,561
男性	1,240	1,179	1,445	1,371	1,313	1,197	1,248	1,219	1,288	1,264	1,062	1,036
女性	631	506	586	594	590	591	609	603	592	604	544	525

資料：警察庁自殺統計原票データより厚生労働省作成

図表 1－5 年齢階級別自殺者数の年次推移

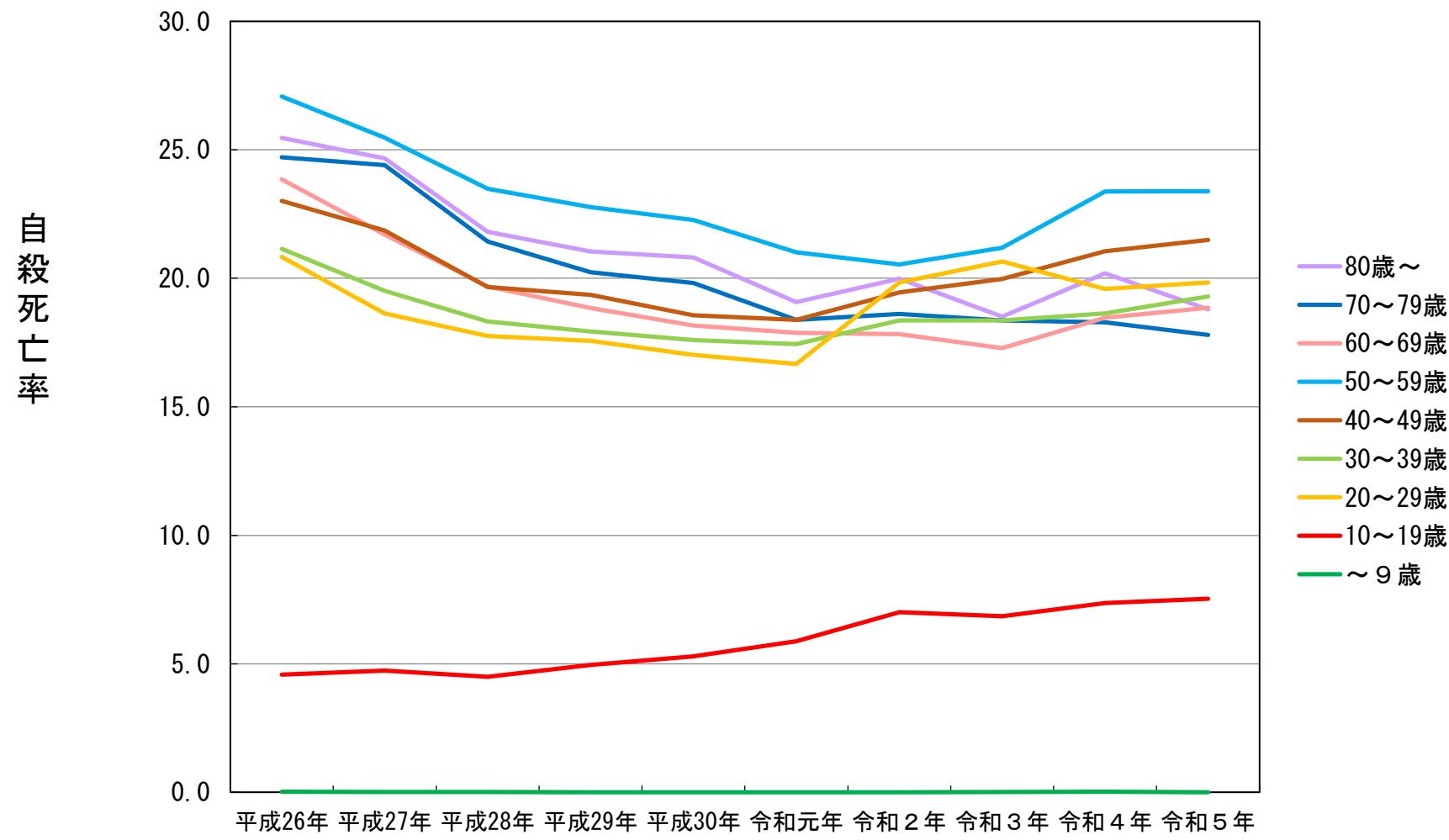
- 令和5年は前年と比べ、9歳以下、40歳代、70歳代及び80歳以上が減少し、その他の年齢階級は増加した。
- 最も減少した年齢階級は80歳以上（120人減）であり、最も増加した年齢階級は50歳代（101人増）であった。



資料：警察庁自殺統計原票データより厚生労働省作成

図表 1－6 年齢階級別自殺死亡率の年次推移

- 令和5年は前年と比べ、70歳代及び80歳以上で低下し、9歳以下及び50歳代は横ばい、その他の年齢階級は上昇した。
- 最も低下したのは80歳以上（-1.4ポイント）であり、最も上昇したのは30歳代（+0.7ポイント）であった。

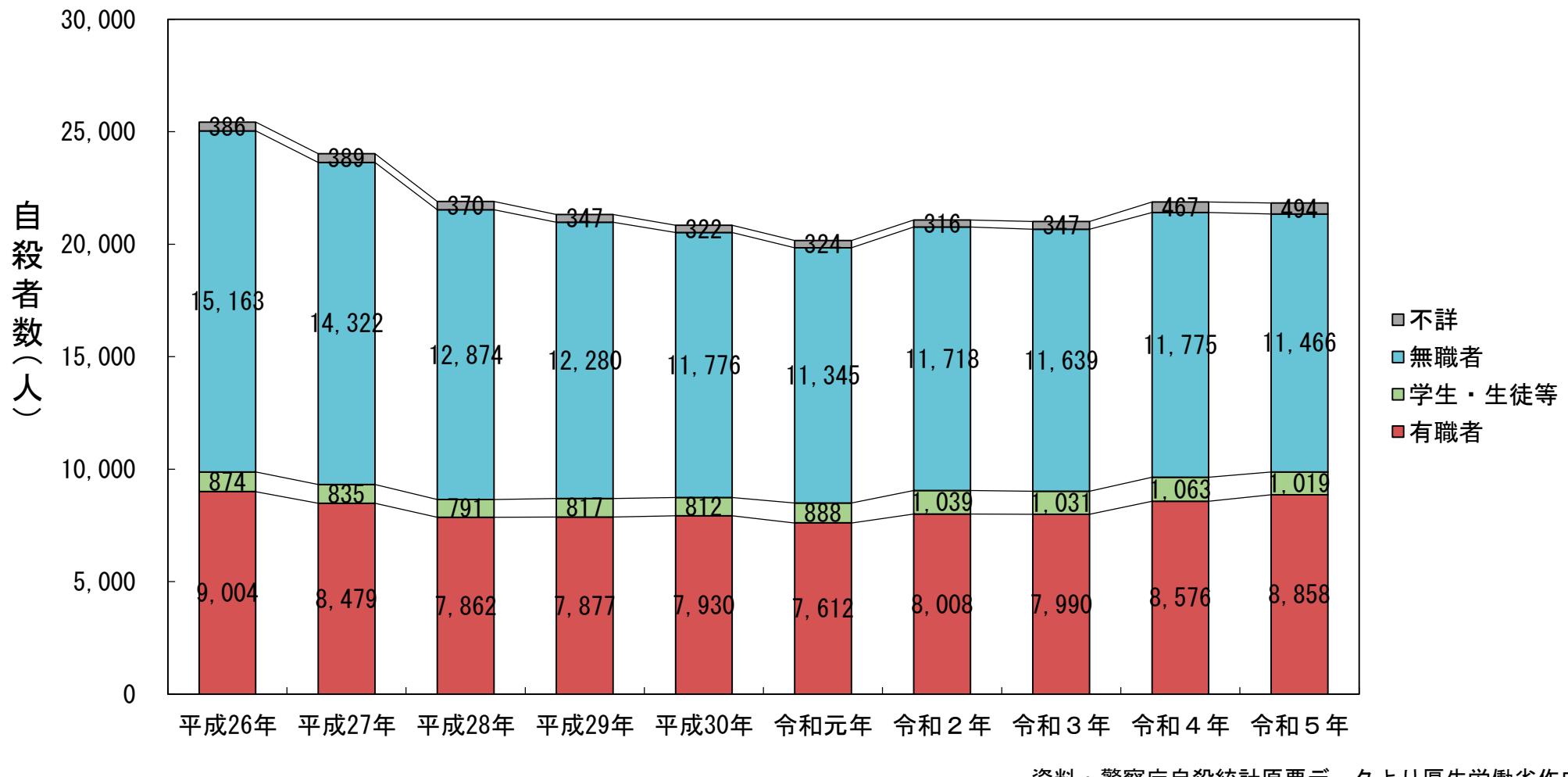


※ 自殺死亡率は、人口10万人当たりの自殺者数である。

資料：警察庁自殺統計原票データ、総務省「人口推計」より厚生労働省作成

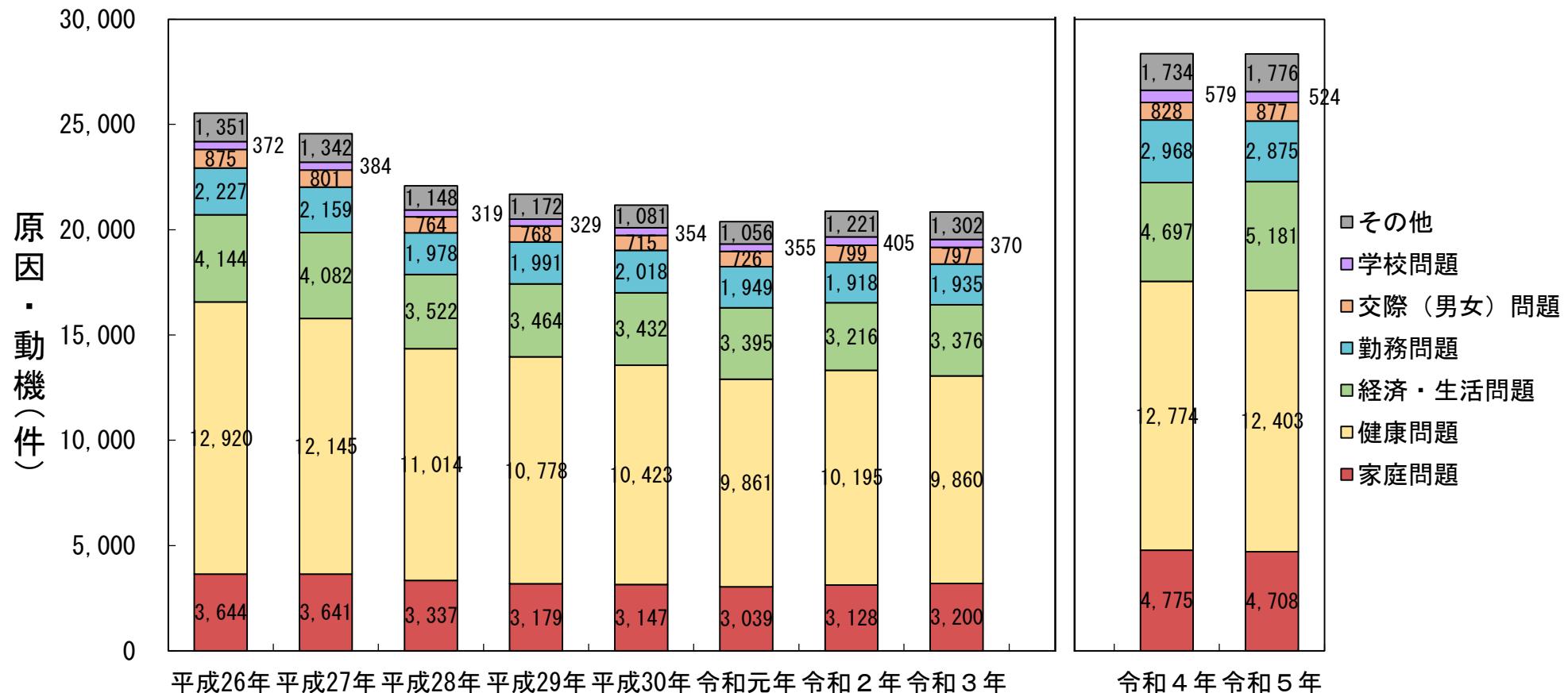
図表1－7 職業別自殺者数の年次推移

○有職者は2年連続の増加となり、学生・生徒等及び無職者は前年から減少した。



図表 1－8 自殺の原因・動機の年次推移

○令和5年は前年と比べ、経済・生活問題、交際問題及びその他の問題が増加し、家庭問題、健康問題、勤務問題及び学校問題が減少した。



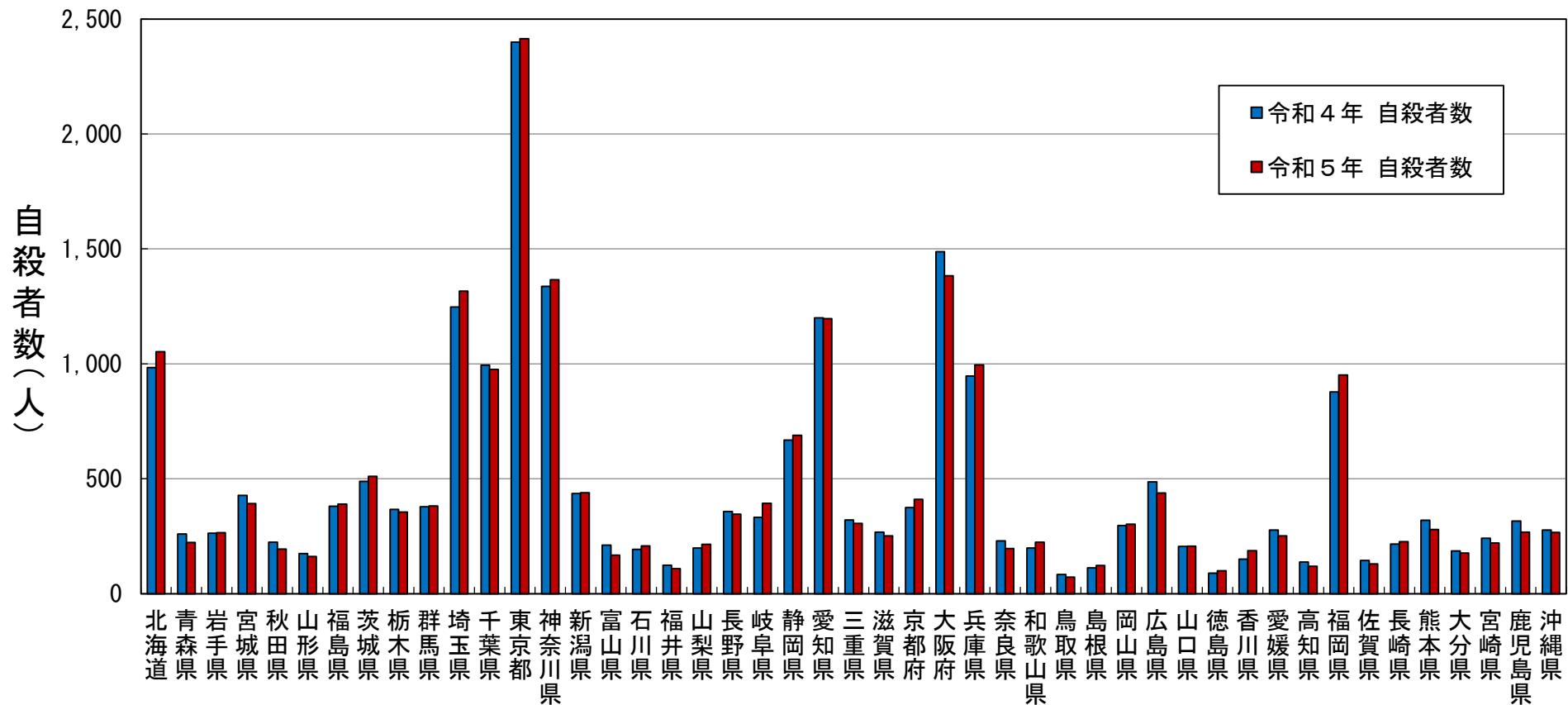
※ 自殺の原因・動機について、令和3年までは、遺書等の自殺を裏付ける資料により明らかに推定できる原因・動機を自殺者一人につき3つまで計上可能としていたが、令和4年からは、家族等の証言から考えうる場合も含め、自殺者一人につき4つまで計上可能としている。

資料：警察庁自殺統計原票データより厚生労働省作成

図表 1－9 都道府県別自殺者数の前年比較

○令和5年は前年と比べ、23都道府県で増加し、24府県で減少した。

○最も増加したのは福岡県（73人増）であり、最も減少したのは大阪府（105人減）であった。



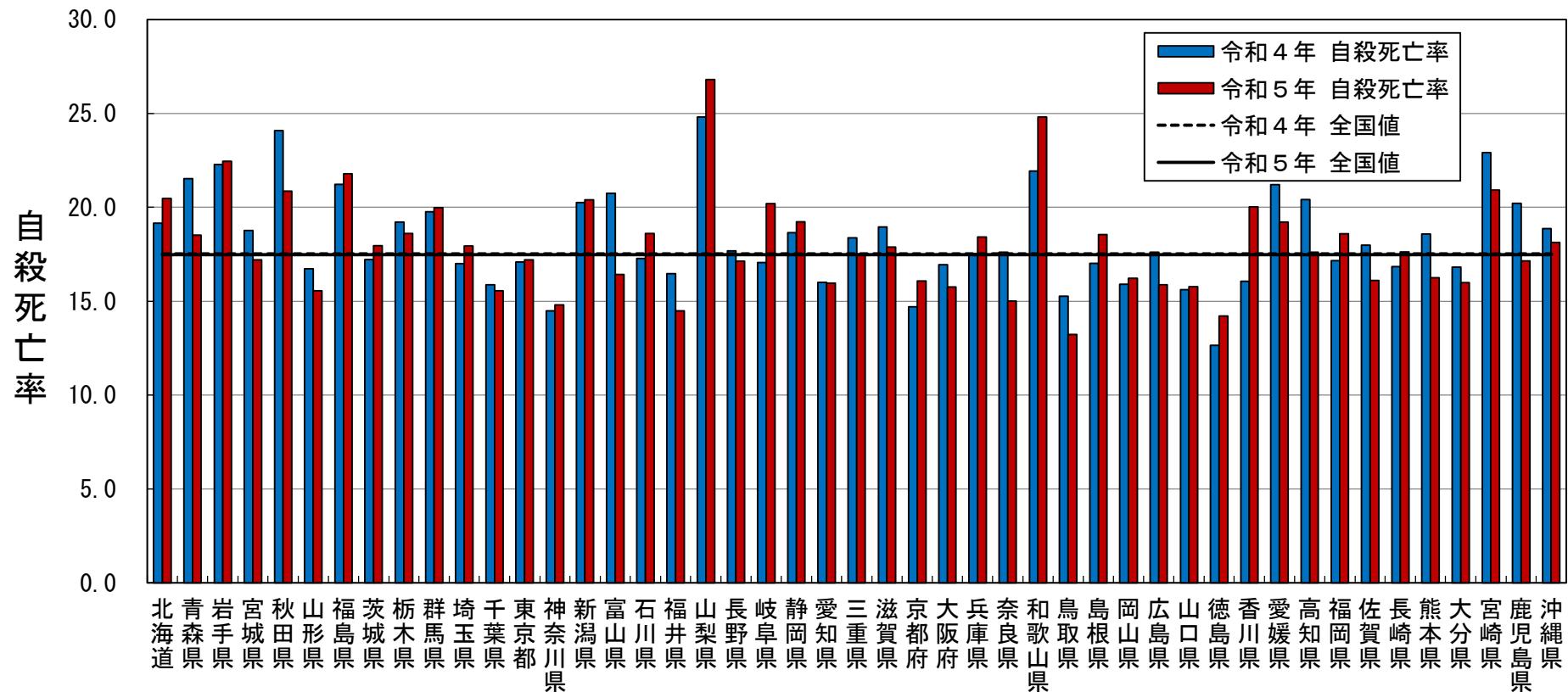
※ 自殺者数は発見された都道府県別に計上している。

資料：警察庁自殺統計原票データより厚生労働省作成

図表 1－10 都道府県別自殺死亡率の前年比較

○令和5年は前年と比べ、23都道府県で上昇し、24府県で低下した。

○最も上昇したのは香川県（+4.0ポイント）であり、最も低下したのは富山県（-4.3ポイント）であった。



※ 自殺者数は発見された都道府県別に計上している。

※ 自殺死亡率は、人口10万人当たりの自殺者数である。

※ 人口は、総務省「人口推計」の「各年10月1日現在人口」（2022年）による。

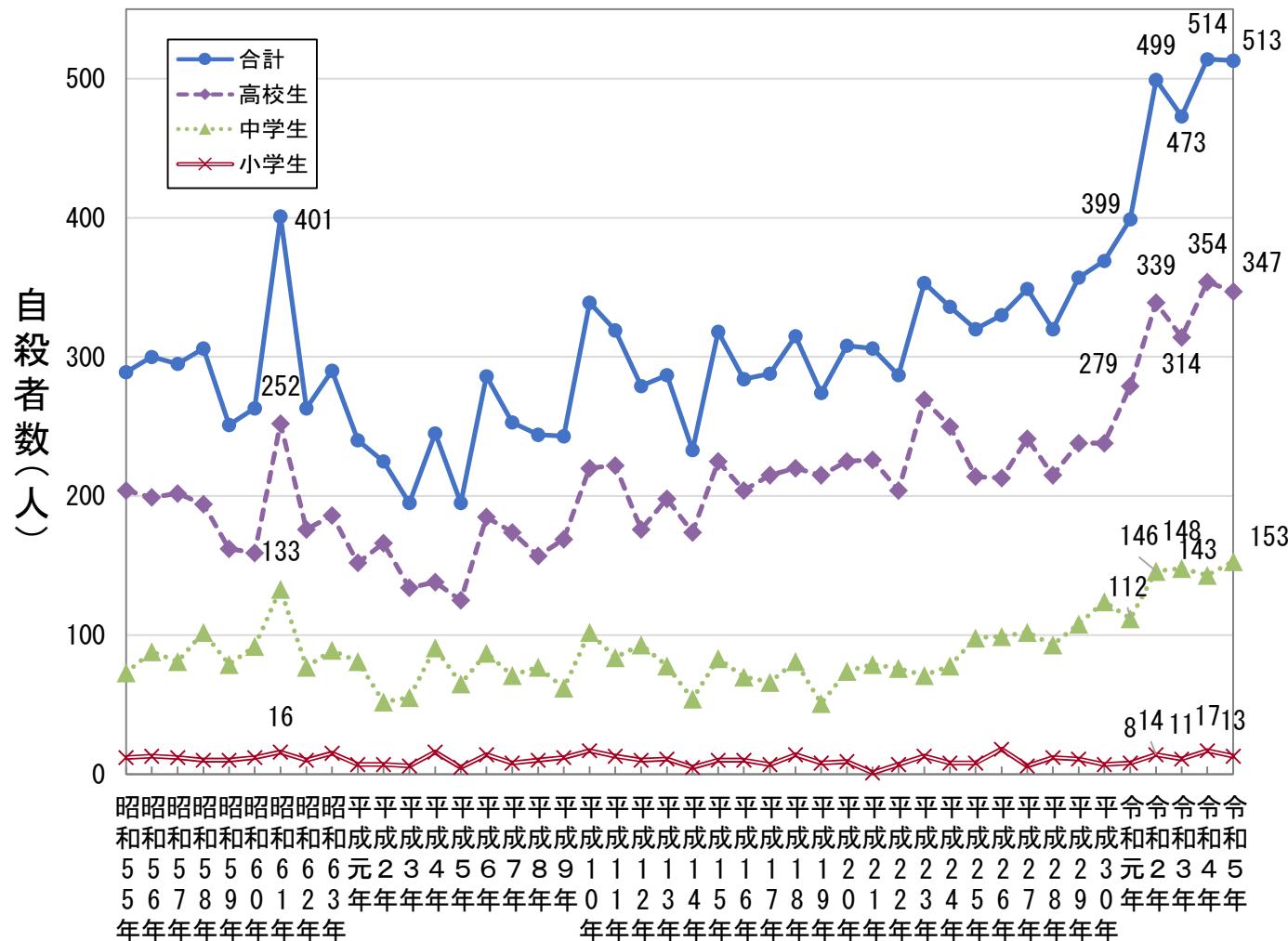
（データの制約上、都道府県別の算出には令和4年の人口を用いるため、本図表の令和5年の自殺死亡率（全国）も令和4年の人口を用いて算出している。そのため、令和5年の自殺死亡率（全国）については他の図表における数値と異なる点に留意が必要。）

資料：警察庁自殺統計原票データ、総務省「人口推計」より厚生労働省作成

図表1-11 小中高生の自殺者数の年次推移

○令和5年の小中高生の自殺者数は513人であり、前年と比べ1人の減少となった。

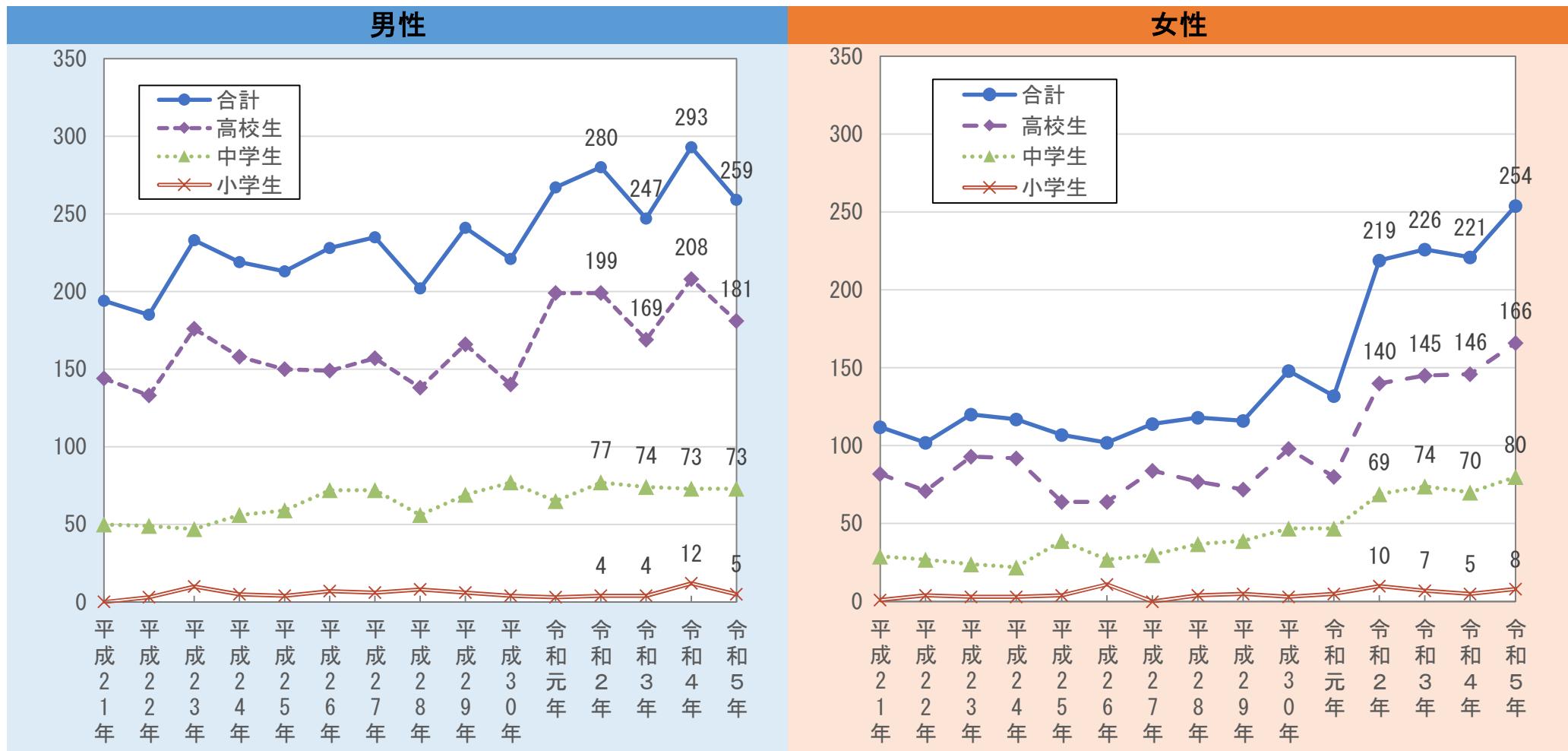
○小学生は13人（4人減）、中学生は153人（10人増）、高校生は347人（7人減）であった。



図表 1-12 小中高生の自殺者数の年次推移（性別）

○男性は、中学生が前年と同数となり、小学生（7人減）及び高校生（27人減）は減少した。

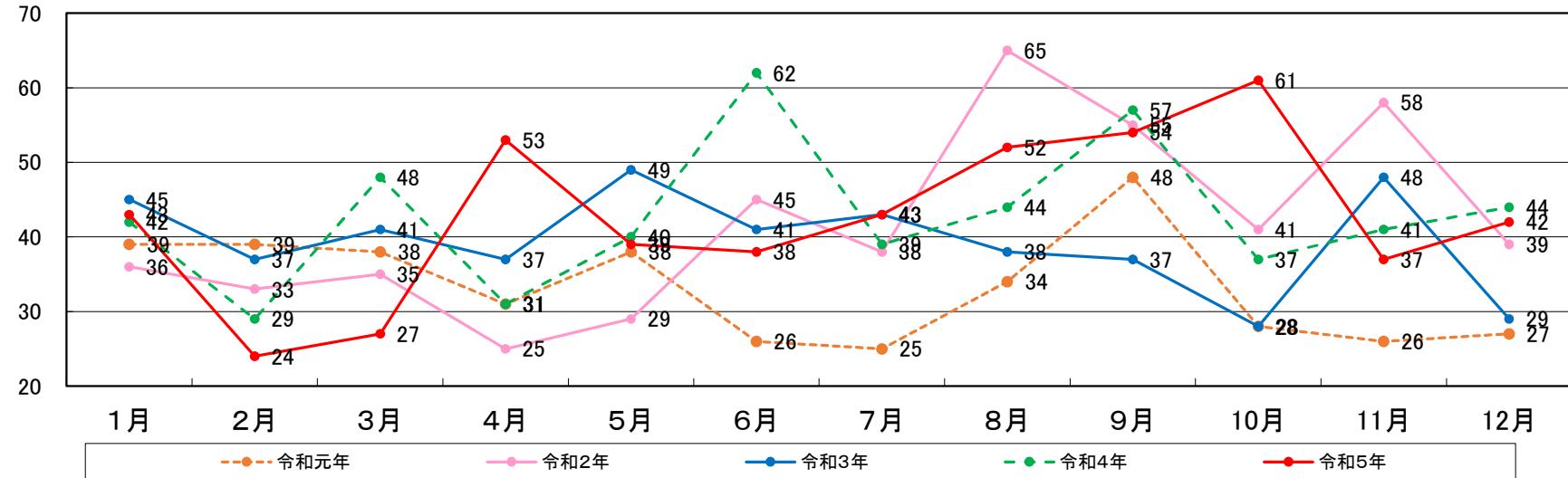
○女性は、小学生（3人増）、中学生（10人増）及び高校生（20人増）のいずれも増加した。



資料：警察庁自殺統計原票データより厚生労働省作成

図表 1-13 小中高生の月別自殺者数の推移

- 令和5年の月別的小中高生の自殺者数は、10月（61人）が最も多く、2月（24人）が最も少なかった。
- 令和5年の4月（53人）、7月（43人）及び10月（61人）の小中高生の自殺者数は、直近5年間で最多となった。



		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和5年	小中高生計	43	24	27	53	39	38	43	52	54	61	37	42	513
	うち小学生	3	1	0	2	1	0	1	0	0	3	1	1	13
	うち中学生	14	9	11	12	9	14	12	19	11	22	9	11	153
令和4年	小中高生計	42	29	48	31	40	62	39	44	57	37	41	44	514
	うち小学生	1	1	1	1	1	3	0	3	2	0	2	2	17
	うち中学生	15	8	12	9	9	14	8	10	18	13	14	13	143
対前年増減数(月別)〈5-4〉	小中高生計	1	-5	-21	22	-1	-24	4	8	-3	24	-4	-2	-1
	うち小学生	2	0	-1	1	0	-3	1	-3	-2	3	-1	-1	-4
	うち中学生	-1	1	-1	3	0	0	4	9	-7	9	-5	-2	10
対前年増減率(月別)〈5/4〉	小中高生計	2.4%	-17.2%	-43.8%	71.0%	-2.5%	-38.7%	10.3%	18.2%	-5.3%	64.9%	-9.8%	-4.5%	-0.2%
	うち小学生	200.0%	0.0%	-100.0%	100.0%	0.0%	-100.0%	-	-100.0%	-100.0%	-	-50.0%	-50.0%	-23.5%
	うち中学生	-6.7%	12.5%	-8.3%	33.3%	0.0%	0.0%	50.0%	90.0%	-38.9%	69.2%	-35.7%	-15.4%	7.0%
うち高校生	0.0%	-30.0%	-54.3%	85.7%	-3.3%	-46.7%	-3.2%	6.5%	16.2%	50.0%	8.0%	3.4%	-2.0%	

資料：警察庁自殺統計原票データより厚生労働省作成

図表1-14 小中高生の自殺の原因・動機

○令和5年の小中高生の原因・動機は、学校問題が最も多く(261件)、次いで健康問題(147件)、家庭問題(116件)となった。

○特に学校問題の内訳をみると、学業不振(65件)、進路に関する悩み(入試以外)(53件)、学校問題その他(51件)、学友との不和(いじめ以外)(48件)が多かった。

		家庭問題	健康問題	経済・生活問題	勤務問題	交際問題	計	学校問題								その他	不詳	
								学業不振	入試に関する悩み	進路に関する悩み(入試以外)	いじめ	学友との不和(いじめ以外)	教師との人間関係	性別による差別	学校問題その他			
令和5年	小学生	総計	6	1	0	0	3	1	0	0	0	1	0	0	1	1	4	3
		男性	1	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2
		女性	5	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2	1	1
	中学生	総計	46	26	1	0	92	28	12	12	1	20	2	0	17	19	24	
		男性	23	10	1	0	43	15	7	7	0	5	0	0	9	9	8	
		女性	23	16	0	0	1	49	13	5	5	1	15	2	8	10	16	
	高校生	総計	64	120	4	4	29	166	36	24	41	0	27	4	1	33	36	61
		男性	37	53	2	2	7	109	22	18	29	0	16	3	0	21	21	26
		女性	27	67	2	2	22	57	14	6	12	0	11	1	1	12	15	35
	合計	総計	116	147	5	4	33	261	65	36	53	1	48	6	1	51	59	88
		男性	61	63	3	2	10	154	38	25	36	0	21	3	0	31	32	36
	女性	55	84	2	2	23	107	27	11	17	1	27	3	1	20	27	52	

		家庭問題	健康問題	経済・生活問題	勤務問題	交際問題	計	学校問題								その他	不詳	
								学業不振	入試に関する悩み	進路に関する悩み(入試以外)	いじめ	学友との不和(いじめ以外)	教師との人間関係	性別による差別	学校問題その他			
令和4年	小学生	総計	4	3	0	0	0	8	3	0	0	1	3	0	0	1	3	4
		男性	3	2	0	0	0	4	2	0	0	1	1	0	0	0	3	3
		女性	1	1	0	0	0	4	1	0	0	0	2	0	0	1	0	1
	中学生	総計	43	25	1	0	3	84	22	17	25	2	11	1	0	6	22	30
		男性	25	12	1	0	1	43	13	10	13	1	3	1	0	2	13	14
		女性	18	13	0	0	2	41	9	7	12	1	8	0	0	4	9	16
	高校生	総計	67	101	8	1	27	189	58	20	35	5	35	7	1	28	41	59
		男性	38	35	6	1	18	125	43	15	26	1	16	5	1	18	26	42
		女性	29	66	2	0	9	64	15	5	9	4	19	2	0	10	15	17
	合計	総計	114	129	9	1	30	281	83	37	60	8	49	8	1	35	66	93
		男性	66	49	7	1	19	172	58	25	39	3	20	6	1	20	42	59
	女性	48	80	2	0	11	109	25	12	21	5	29	2	0	15	24	34	

		家庭問題	健康問題	経済・生活問題	勤務問題	交際問題	計	学校問題								その他	不詳	
								学業不振	入試に関する悩み	進路に関する悩み(入試以外)	いじめ	学友との不和(いじめ以外)	教師との人間関係	性別による差別	学校問題その他			
前年差	小学生	総計	2	-2	0	0	0	-5	-2	0	-1	-2	0	0	0	1	-1	
		男性	-2	-2	0	0	0	-2	-1	0	-1	-1	0	0	1	-1	-1	
		女性	4	0	0	0	0	-3	-1	0	0	-1	0	0	-1	2	0	
	中学生	総計	3	1	0	0	1	8	6	-5	-13	-1	9	1	0	11	-3	-6
		男性	-2	-2	0	0	2	0	2	-3	-6	-1	2	-1	0	7	-4	-6
		女性	5	3	0	0	-1	8	4	-2	-7	0	7	2	0	4	1	0
	高校生	総計	-3	19	-4	3	2	-23	-22	4	6	-5	-8	-3	0	5	-5	2
		男性	-1	18	-4	1	-11	-16	-21	3	3	-1	0	-2	-1	3	-5	-16
		女性	-2	1	0	2	13	-7	-1	1	3	-4	-8	-1	1	2	0	18
	合計	総計	2	18	-4	3	3	-20	-18	-1	-7	-7	-1	-2	0	16	-7	-5
		男性	-5	14	-4	1	-9	-18	-20	0	-3	-3	1	-3	-1	11	-10	-23
	女性	7	4	0	2	12	-2	2	-1	-4	-4	-2	1	1	5	3	18	

資料：警察庁自殺統計原票データより厚生労働省作成

第2章 令和5年中における自殺の内訳

図表2－1 性別、年齢階級別、職業別の自殺者数前年比較

		令和5年 (構成比)	令和4年 (構成比)	前年差	前年比
自殺者総数	21,837	(100%)	21,881	(100%)	-44 -0.2%
性別 自殺者数	男性	14,862	(68.1%)	14,746	(67.4%) +116 0.8%
	女性	6,975	(31.9%)	7,135	(32.6%) -160 -2.2%
年齢階級別 自殺者数	～9歳	0	(0%)	2	(0%) -2 -100.0%
	10～19歳	810	(3.7%)	796	(3.6%) +14 1.8%
	20～29歳	2,521	(11.5%)	2,483	(11.3%) +38 1.5%
	30～39歳	2,587	(11.8%)	2,545	(11.6%) +42 1.7%
	40～49歳	3,625	(16.6%)	3,665	(16.7%) -40 -1.1%
	50～59歳	4,194	(19.2%)	4,093	(18.7%) +101 2.5%
	60～69歳	2,798	(12.8%)	2,765	(12.6%) +33 1.2%
	70～79歳	2,901	(13.3%)	2,994	(13.7%) -93 -3.1%
	80歳～	2,370	(10.9%)	2,490	(11.4%) -120 -4.8%
	不詳	31	(0.1%)	48	(0.2%) -17 -35.4%
職業別 自殺者数	有職者	8,858	(40.6%)	8,576	(39.2%) +282 3.3%
	学生・生徒等	1,019	(4.7%)	1,063	(4.9%) -44 -4.1%
	無職者	11,466	(52.5%)	11,775	(53.8%) -309 -2.6%
	不詳	494	(2.3%)	467	(2.1%) +27 5.8%

図表2－2 自殺の原因・動機についての前年比較

		令和5年 (構成比)	令和4年 (構成比)	前年差	前年比
原因・動機特定者数	19,449	(89.1%)	19,164	(87.6%) +285	1.5%
原因・動機不特定者数	2,388	(10.9%)	2,717	(12.4%) -329	-12.1%
原因・動機 特定者の 原因・動機	家庭問題	4,708	-	4,775	-67 -1.4%
	健康問題	12,403	-	12,774	-371 -2.9%
	経済・生活問題	5,181	-	4,697	+484 10.3%
	勤務問題	2,875	-	2,968	-93 -3.1%
	交際問題	877	-	828	+49 5.9%
	学校問題	524	-	579	-55 -9.5%
	その他	1,776	-	1,734	+42 2.4%

※ 自殺の多くは多様かつ複合的な原因及び背景を有しており、様々な要因が連鎖する中で起きている。

※ 自殺の原因・動機は、遺書等の生前の言動を裏付ける資料がある場合に加え、家族等の証言から考えうる場合も含め、自殺者一人につき4つまで計上可能である。このため、原因・動機特定者数と原因・動機の件数の和は一致するとは限らない。

図表2－3 年齢階級別、職業別自殺者数

年齢階級別 職業別		~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳~	不 詳	合 計	
合計	計	810	2,521	2,587	3,625	4,194	2,798	2,901	2,370	31	21,837	
	男	431	1,599	1,883	2,665	2,939	1,931	1,910	1,479	25	14,862	
	女	379	922	704	960	1,255	867	991	891	6	6,975	
有職者	計	95	1,377	1,579	2,089	2,158	1,021	428	111	0	8,858	
	男	57	919	1,263	1,743	1,766	860	360	95	0	7,063	
	女	38	458	316	346	392	161	68	16	0	1,795	
無職	学生・生徒等	計	629	382	7	0	1	0	0	0	1,019	
		男	330	238	3	0	1	0	0	0	572	
		女	299	144	4	0	0	0	0	0	447	
	無職者	計	82	706	930	1,436	1,915	1,708	2,438	2,251	0	11,466
		男	43	409	560	832	1,071	1,012	1,522	1,378	0	6,827
		女	39	297	370	604	844	696	916	873	0	4,639
	主婦・主夫	計	0	29	97	202	335	226	119	50	0	1,058
		男	0	0	3	2	2	3	6	2	0	18
		女	0	29	94	200	333	223	113	48	0	1,040
	失業者	計	5	135	205	286	336	138	31	5	0	1,141
		男	3	89	161	224	273	117	29	5	0	901
		女	2	46	44	62	63	21	2	0	0	240
	年金・雇用 保険等受給者	計	4	74	155	260	379	898	2,015	2,012	0	5,797
		男	0	40	81	143	229	582	1,291	1,258	0	3,624
		女	4	34	74	117	150	316	724	754	0	2,173
	その他	計	73	468	473	688	865	446	273	184	0	3,470
		男	40	280	315	463	567	310	196	113	0	2,284
		女	33	188	158	225	298	136	77	71	0	1,186
不詳	計	4	56	71	100	120	69	35	8	31	494	
	男	1	33	57	90	101	59	28	6	25	400	
	女	3	23	14	10	19	10	7	2	6	94	

※ 「その他」は、「利子・配当・家賃等生活者」、「ホームレス」、「他の無職者」等を足し合わせたもの。

図表2－4 年齢階級別原因・動機

原因・動機	年齢階級別		~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳~	不詳	合計
	計	性別										
家庭問題	計		155	358	574	891	1,000	547	599	584	0	4,708
	男		82	196	377	580	605	315	369	353	0	2,877
	女		73	162	197	311	395	232	230	231	0	1,831
健康問題	計		263	1,005	1,130	1,682	2,179	1,783	2,310	2,051	0	12,403
	男		103	473	673	1,008	1,235	1,036	1,440	1,256	0	7,224
	女		160	532	457	674	944	747	870	795	0	5,179
経済・生活問題	計		32	531	771	1,122	1,338	848	434	103	2	5,181
	男		19	427	689	1,016	1,194	736	360	65	2	4,508
	女		13	104	82	106	144	112	74	38	0	673
勤務問題	計		29	491	547	765	735	229	69	10	0	2,875
	男		23	380	460	666	649	200	64	9	0	2,451
	女		6	111	87	99	86	29	5	1	0	424
交際問題	計		70	358	187	133	82	27	15	5	0	877
	男		29	206	126	90	48	24	8	5	0	536
	女		41	152	61	43	34	3	7	0	0	341
学校問題	計		326	195	3	0	0	0	0	0	0	524
	男		201	137	2	0	0	0	0	0	0	340
	女		125	58	1	0	0	0	0	0	0	184
その他	計		106	246	216	256	322	200	229	201	0	1,776
	男		63	168	160	199	242	145	151	116	0	1,244
	女		43	78	56	57	80	55	78	85	0	532

※ 自殺の多くは多様かつ複合的な原因及び背景を有しており、様々な要因が連鎖する中で起きている。

※ 自殺の原因・動機は、遺書等の生前の言動を裏付ける資料がある場合に加え、家族等の証言から考えうる場合も含め、自殺者一人につき4つまで計上可能である。このため、原因・動機特定者数と原因・動機の件数の和は一致するとは限らない。

図表2－5 職業別原因・動機

原因・動機	職業別	有職者	無職						不詳
			学生・生徒等	無職者	主婦・主夫	失業者	年金・雇用保険等受給者	その他	
家庭問題	計	1,989	155	2,520	388	201	1,253	678	44
	男	1,495	82	1,270	6	147	734	383	30
	女	494	73	1,250	382	54	519	295	14
健康問題	計	3,380	315	8,597	870	528	5,028	2,171	111
	男	2,322	142	4,693	13	374	3,044	1,262	67
	女	1,058	173	3,904	857	154	1,984	909	44
経済・生活問題	計	2,794	53	2,186	64	651	626	845	148
	男	2,561	31	1,781	4	576	472	729	135
	女	233	22	405	60	75	154	116	13
勤務問題	計	2,553	9	303	8	175	30	90	10
	男	2,207	6	229	1	138	22	68	9
	女	346	3	74	7	37	8	22	1
交際問題	計	566	88	207	12	46	47	102	16
	男	372	37	117	3	32	27	55	10
	女	194	51	90	9	14	20	47	6
学校問題	計	2	505	17	0	0	0	17	0
	男	1	324	15	0	0	0	15	0
	女	1	181	2	0	0	0	2	0
その他	計	670	116	949	43	87	476	343	41
	男	548	70	591	0	68	291	232	35
	女	122	46	358	43	19	185	111	6

※ 自殺の多くは多様かつ複合的な原因及び背景を有しており、様々な要因が連鎖する中で起きている。

※ 自殺の原因・動機は、遺書等の生前の言動を裏付ける資料がある場合に加え、家族等の証言から考えうる場合も含め、自殺者一人につき4つまで計上可能である。このため、原因・動機特定者数と原因・動機の件数の和は一致するとは限らない。

※ 「その他」は、「利子・配当・家賃等生活者」、「ホームレス」、「その他の無職者」等を足し合わせたもの。

図表2-6 都道府県別自殺者数及び自殺死亡率

都道府県	令和5年		令和4年		前年差	
	自殺者数	自殺死亡率	自殺者数	自殺死亡率	自殺者数	自殺死亡率
北海道	1,052	20.5	984	19.1	+ 68	+ 1.3
青森県	223	18.5	259	21.5	- 36	- 3.0
岩手県	265	22.4	263	22.3	+ 2	+ 0.2
宮城県	392	17.2	428	18.8	- 36	- 1.6
秋田県	194	20.9	224	24.1	- 30	- 3.2
山形県	162	15.6	174	16.7	- 12	- 1.2
福島県	390	21.8	380	21.2	+ 10	+ 0.6
茨城県	510	18.0	489	17.2	+ 21	+ 0.7
栃木県	355	18.6	367	19.2	- 12	- 0.6
群馬県	382	20.0	378	19.8	+ 4	+ 0.2
埼玉県	1,316	17.9	1,247	17.0	+ 69	+ 0.9
千葉県	975	15.6	994	15.9	- 19	- 0.3
東京都	2,414	17.2	2,399	17.1	+ 15	+ 0.1
神奈川県	1,366	14.8	1,337	14.5	+ 29	+ 0.3
新潟県	439	20.4	436	20.3	+ 3	+ 0.1
富山県	167	16.4	211	20.7	- 44	- 4.3
石川県	208	18.6	193	17.3	+ 15	+ 1.3
福井県	109	14.5	124	16.5	- 15	- 2.0
山梨県	215	26.8	199	24.8	+ 16	+ 2.0
長野県	346	17.1	357	17.7	- 11	- 0.5
岐阜県	393	20.2	332	17.1	+ 61	+ 3.1
静岡県	689	19.2	668	18.6	+ 21	+ 0.6
愛知県	1,196	16.0	1,200	16.0	- 4	- 0.1
三重県	305	17.5	320	18.4	- 15	- 0.9
滋賀県	252	17.9	267	18.9	- 15	- 1.1
京都府	410	16.1	375	14.7	+ 35	+ 1.4
大阪府	1,383	15.7	1,488	16.9	- 105	- 1.2
兵庫県	995	18.4	947	17.5	+ 48	+ 0.9
奈良県	196	15.0	230	17.6	- 34	- 2.6
和歌山县	224	24.8	198	21.9	+ 26	+ 2.9
鳥取県	72	13.2	83	15.3	- 11	- 2.0
島根県	122	18.5	112	17.0	+ 10	+ 1.5
岡山県	302	16.2	296	15.9	+ 6	+ 0.3
広島県	438	15.9	486	17.6	- 48	- 1.7
山口県	207	15.8	205	15.6	+ 2	+ 0.2
徳島県	100	14.2	89	12.6	+ 11	+ 1.6
香川県	187	20.0	150	16.1	+ 37	+ 4.0
愛媛県	251	19.2	277	21.2	- 26	- 2.0
高知県	119	17.6	138	20.4	- 19	- 2.8
福岡県	951	18.6	878	17.2	+ 73	+ 1.4
佐賀県	129	16.1	144	18.0	- 15	- 1.9
長崎県	226	17.6	216	16.8	+ 10	+ 0.8
熊本県	279	16.2	319	18.6	- 40	- 2.3
大分県	177	16.0	186	16.8	- 9	- 0.8
宮崎県	220	20.9	241	22.9	- 21	- 2.0
鹿児島県	268	17.1	316	20.2	- 48	- 3.1
沖縄県	266	18.1	277	18.9	- 11	- 0.7

※ 自殺者数は発見された都道府県別に計上している。

※ 自殺死亡率は、人口10万人当たりの自殺者数である。

※ 人口は、総務省「人口推計」の「各年10月1日現在人口」（2022年）による。

図表2-7 都道府県別、性別、年齢階級別、職業別の自殺者数、及び都道府県別の原因・動機

都道府県	性別		年齢階級別										職業					原因・動機						
	男性	女性	20歳未満	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80歳以上	不詳	有職	無職	学生・生徒等	無職者	不詳	家庭問題	健康問題	経済・生活問題	勤務問題	交際問題	学校問題	その他	
北海道	710	342	38	129	113	184	193	129	160	105	1	455	579	37	542	18	258	461	298	182	65	16	86	
青森県	154	69	2	15	22	35	41	35	36	37	0	85	135	7	128	3	53	135	89	33	5	6	19	
岩手県	195	70	12	24	18	37	58	51	34	31	0	120	138	8	130	7	53	118	58	29	10	6	34	
宮城県	269	123	13	41	51	87	74	50	36	40	0	177	205	13	192	10	127	265	113	84	20	3	42	
秋田県	117	77	4	16	15	31	26	24	32	46	0	79	110	5	105	5	49	110	38	24	5	5	18	
山形県	122	40	1	13	25	33	29	16	23	22	0	86	75	4	71	1	47	103	46	30	6	1	13	
福島県	268	122	11	47	42	58	75	64	48	44	1	160	219	16	203	11	87	230	121	63	6	9	25	
茨城県	350	160	21	60	65	108	91	55	67	42	1	204	277	23	254	29	136	249	103	77	24	15	36	
栃木県	258	97	21	42	35	65	62	49	46	34	1	144	204	22	182	7	67	164	86	32	11	12	20	
群馬県	264	118	12	50	28	66	71	51	54	49	1	154	227	16	211	1	65	254	107	51	12	11	36	
埼玉県	872	444	51	163	151	209	270	152	169	148	3	530	761	58	703	25	108	834	151	48	37	12	51	
千葉県	649	326	39	108	123	161	200	119	130	93	2	372	599	52	547	4	247	634	249	130	28	32	70	
東京都	1,532	882	114	401	303	401	468	275	264	187	1	971	1,328	177	1,151	115	305	1,062	368	245	102	59	127	
神奈川県	898	468	41	177	177	238	309	168	141	115	0	527	802	62	740	37	333	752	388	204	45	36	125	
新潟県	316	123	14	31	41	71	79	64	65	73	1	159	272	18	254	8	110	198	111	37	6	9	52	
富山県	104	63	3	23	22	32	25	18	29	15	0	64	101	5	96	2	59	100	25	20	8	4	21	
石川県	143	65	9	19	36	25	39	31	24	25	0	97	104	11	93	7	27	92	34	13	6	4	10	
福井県	81	28	2	14	16	12	18	20	17	10	0	59	50	3	47	0	28	58	18	29	5	2	14	
山梨県	162	53	6	34	25	35	41	28	21	19	6	101	94	7	87	20	44	100	49	35	7	4	15	
長野県	253	93	15	41	42	51	70	36	47	44	0	152	190	13	177	4	110	225	101	83	18	12	34	
岐阜県	278	115	14	39	49	72	80	40	48	51	0	183	204	19	185	6	66	146	96	47	12	5	51	
静岡県	490	199	24	65	85	110	137	92	112	62	2	302	380	27	353	7	161	374	197	114	38	11	69	
愛知県	809	387	61	149	152	212	207	132	147	129	7	479	695	60	635	22	270	813	335	174	41	44	98	
三重県	227	78	9	22	31	54	75	37	41	35	1	128	166	10	156	11	80	180	82	59	12	4	35	
滋賀県	174	78	9	36	38	36	55	22	33	23	0	117	132	16	116	3	80	161	62	53	11	15	36	
京都府	277	133	22	43	51	62	85	55	45	46	1	163	232	27	205	15	96	207	103	54	15	12	29	
大阪府	887	496	38	167	174	225	279	159	187	154	0	495	867	51	816	21	337	1,110	413	160	71	28	110	
兵庫県	659	336	32	100	113	160	178	128	157	127	0	377	599	48	551	19	182	619	190	119	36	19	61	
奈良県	124	72	10	20	24	31	43	19	24	25	0	74	119	16	103	3	56	108	50	38	6	9	18	
和歌山県	148	76	5	17	20	34	43	36	40	29	0	73	145	4	141	6	46	120	47	20	7	3	16	
鳥取県	58	14	2	7	4	14	16	15	11	3	0	35	32	3	29	5	30	38	16	17	1	1	4	
島根県	85	37	4	9	12	15	26	17	23	16	0	57	64	4	60	1	27	66	27	20	3	3	5	
岡山県	235	67	14	30	48	51	60	35	30	34	0	135	163	18	145	4	58	106	56	37	18	9	14	
広島県	313	125	15	47	54	67	81	58	66	50	0	178	257	21	236	3	123	286	126	61	16	18	56	
山口県	159	48	4	19	27	29	28	28	32	40	0	90	117	4	113	0	58	104	53	32	5	1	15	
徳島県	66	34	5	10	11	15	21	15	10	12	1	34	63	6	57	3	18	46	22	9	10	2	8	
香川県	133	54	5	13	22	39	35	31	23	19	0	80	98	4	94	9	56	117	56	35	10	5	24	
愛媛県	169	82	6	21	18	36	47	40	44	39	0	94	153	8	145	4	50	133	53	26	12	5	17	
高知県	89	30	4	8	21	15	18	21	24	8	0	55	64	4	60	0	30	80	49	15	9	2	13	
福岡県	627	324	47	106	115	169	177	134	119	84	0	367	568	56	512	16	226	568	246	114	53	39	99	
佐賀県	95	34	5	15	18	18	22	21	18	12	0	62	61	5	56	6	30	71	40	26	7	2	17	
長崎県	158	68	5	17	15	33	37	45	41	33	0	89	136	7	129	1	43	135	44	28	5	5	41	
熊本県	199	80	9	23	38	46	48	35	43	36	1	115	160	11	149	4	55	156	70	38	12	6	19	
大分県	130	47	6	15	14	32	35	25	24	26	0	75	101	5	96	1	42	65	42	29	10	1	16	
宮崎県	152	68	8	21	23	30	31	29	40	38	0	91	127	8	119	2	63	123	40	35	6	5	17	
鹿児島県	202	66	7	25	34	42	36	37	47	40	0	102	159	9	150	7	59	156	65	35	9	7	30	
沖縄県	202	64	11	29	26	39	55	57	29	20	0	112	153	11	142	1	53	171	48	31	16	5	10	

※ 自殺者数は発見された都道府県別に計上している。

※ 自殺の多くは多様かつ複合的な原因及び背景を有しており、様々な要因が連鎖する中で起きている。

※ 自殺の原因・動機は、遺書等の生前の言動を裏付ける資料がある場合に加え、家族等の証言から考えうる場合も含め、自殺者一人につき4つまで計上可能である。このため、原因・動機特定者数と原因・動機の件数の和は一致するとは限らない。

図表2-8 都道府県別、月別自殺者数

都道府県	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	1,052	74	64	102	90	88	92	97	103	92	94	86	70
青森県	223	25	19	25	23	13	25	18	18	15	14	8	20
岩手県	265	22	24	27	27	23	20	17	16	25	26	20	18
宮城県	392	29	35	39	36	43	30	33	25	29	31	33	29
秋田県	194	17	13	19	18	18	19	15	9	20	17	15	14
山形県	162	17	18	12	13	17	8	16	10	12	20	10	9
福島県	390	28	29	47	39	39	33	39	26	33	30	20	27
茨城県	510	56	33	45	37	47	39	36	34	40	44	50	49
栃木県	355	28	27	29	38	36	25	31	39	25	40	16	21
群馬県	382	34	40	40	31	32	22	25	31	32	35	31	29
埼玉県	1,316	113	90	116	131	118	99	108	100	122	114	107	98
千葉県	975	73	78	84	106	87	68	73	91	87	78	72	78
東京都	2,414	232	192	202	194	194	212	223	207	201	194	176	187
神奈川県	1,366	127	100	111	122	118	107	116	110	126	105	116	108
新潟県	439	39	31	47	42	40	38	36	38	31	39	26	32
富山県	167	16	13	20	19	19	11	11	16	15	8	10	9
石川県	208	20	15	17	14	21	15	12	20	31	12	18	13
福井県	109	12	12	10	7	7	11	9	1	10	11	9	10
山梨県	215	23	14	19	19	14	19	20	24	16	22	14	11
長野県	346	30	26	29	32	32	27	35	28	26	27	29	25
岐阜県	393	35	32	36	46	41	37	28	27	30	28	27	26
静岡県	689	54	49	69	51	58	54	62	61	59	66	56	50
愛知県	1,196	85	90	114	111	105	93	106	98	99	101	97	97
三重県	305	27	15	38	25	26	32	24	24	23	28	21	22
滋賀県	252	19	13	23	17	20	26	19	21	27	23	17	27
京都府	410	37	23	49	49	28	33	24	44	33	36	24	30
大阪府	1,383	118	128	118	130	140	105	119	110	120	137	103	55
兵庫県	995	97	74	87	85	92	80	80	98	71	95	79	57
奈良県	196	14	16	20	14	14	14	14	17	23	20	12	18
和歌山県	224	20	18	23	22	16	19	18	16	16	18	12	26
鳥取県	72	11	6	8	6	3	10	9	5	5	5	1	3
島根県	122	15	8	8	8	7	11	13	13	14	9	10	6
岡山県	302	29	19	23	32	15	34	35	25	23	19	21	27
広島県	438	31	43	38	35	41	36	39	34	37	53	25	26
山口県	207	15	18	24	8	22	18	14	22	19	19	11	17
徳島県	100	9	10	6	7	6	10	10	9	9	7	8	9
香川県	187	14	20	24	13	13	8	16	14	17	11	23	14
愛媛県	251	24	24	15	21	20	25	20	19	26	20	15	22
高知県	119	7	15	12	15	10	9	7	9	10	6	6	13
福岡県	951	73	69	103	86	94	80	78	86	79	84	68	51
佐賀県	129	7	12	19	10	10	10	16	6	7	12	11	9
長崎県	226	21	24	18	20	22	20	22	14	19	16	13	17
熊本県	279	21	26	23	21	20	21	28	25	25	23	23	23
大分県	177	16	13	8	19	14	15	19	26	11	12	10	14
宮崎県	220	13	12	32	13	20	19	23	20	26	19	6	17
鹿児島県	268	21	21	29	31	18	23	23	19	31	19	19	14
沖縄県	266	23	14	24	32	22	26	21	14	33	21	22	14

※ 自殺者数は発見された都道府県別に計上している。

図表2-9 東日本大震災に関する自殺者数

1. 全国合計及び男女別

	合計	男	女
平成23年	55	42	13
平成24年	24	18	6
平成25年	38	23	15
平成26年	22	11	11
平成27年	23	13	10
平成28年	22	15	7
平成29年	26	17	9
平成30年	9	8	1
令和元年	16	10	6
令和2年	5	2	3
令和3年	6	2	4
令和4年	2	2	0
令和5年	4	4	0

2. 年齢階級別

	~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳~	不詳
平成23年	1	4	4	4	11	19	7	3	0
平成24年	0	2	4	3	5	5	2	3	0
平成25年	0	4	3	6	13	2	3	7	0
平成26年	1	1	1	4	5	7	2	1	0
平成27年	0	1	0	4	2	5	7	4	0
平成28年	0	1	5	4	4	5	2	1	0
平成29年	2	2	2	2	12	3	2	1	0
平成30年	0	1	1	1	1	0	3	2	0
令和元年	1	1	2	0	3	6	3	0	0
令和2年	0	0	0	1	0	1	2	1	0
令和3年	0	0	1	1	2	1	1	0	0
令和4年	0	1	0	0	0	0	1	0	0
令和5年	0	0	0	0	1	1	1	1	0

3. 職業別

有職者	学生・生徒等	無職者	無職				不詳	
			主婦・主夫	失業者	年金・雇用保険等受給者	その他		
平成23年	23	1	31	3	6	14	8	0
平成24年	8	0	16	0	3	7	6	0
平成25年	11	0	27	6	3	7	11	0
平成26年	4	1	17	3	1	6	7	0
平成27年	5	1	17	1	0	10	6	0
平成28年	9	0	13	2	3	7	1	0
平成29年	6	1	18	3	1	5	9	1
平成30年	2	0	7	0	0	4	3	0
令和元年	7	0	9	1	0	1	7	0
令和2年	1	0	4	1	0	1	2	0
令和3年	1	0	5	1	0	2	2	0
令和4年	0	0	2	0	0	1	1	0
令和5年	0	0	4	0	0	3	1	0

4. 原因・動機

	家庭問題	健康問題	経済・生活問題	勤務問題	男女(交際)問題	学校問題	その他	不詳
平成23年	11	17	18	7	0	0	10	16
平成24年	5	11	5	2	0	0	4	5
平成25年	5	22	9	5	1	0	3	8
平成26年	5	11	3	2	1	0	1	6
平成27年	6	13	2	0	1	0	2	8
平成28年	5	13	4	4	1	0	3	5
平成29年	10	10	3	1	0	0	4	10
平成30年	1	5	3	2	0	0	1	3
令和元年	4	9	3	3	1	0	1	1
令和2年	0	4	0	0	0	0	1	1
令和3年	3	1	1	1	0	0	1	1
令和4年	0	2	0	0	0	0	0	0
令和5年	2	2	1	0	0	0	0	0

5. 都道府県別

	3県					その他				
	岩手県	宮城県	福島県	茨城県	埼玉県	東京都	神奈川県	新潟県	大阪府	京都府
平成23年	17	22	10	1	1	2	1	0	1	0
平成24年	8	3	13	0	0	0	0	0	0	0
平成25年	4	10	23	0	0	0	0	0	0	1
平成26年	3	4	15	0	0	0	0	0	0	0
平成27年	3	1	19	0	0	0	0	0	0	0
平成28年	6	8	7	0	0	1	0	0	0	0
平成29年	7	5	12	0	0	0	1	1	0	0
平成30年	2	3	4	0	0	0	0	0	0	0
令和元年	3	1	12	0	0	0	0	0	0	0
令和2年	1	1	3	0	0	0	0	0	0	0
令和3年	1	4	1	0	0	0	0	0	0	0
令和4年	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
令和5年	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0

※ 平成23年の数字は、本自殺者数の計上を始めた6月から12月までを足したものです。

また、平成24年から令和5年の数字は、1月から12月までを足したものです。

※ 「3. 職業別」の「その他」は、「利子・配当・家賃等生活者」、「ホームレス」、「その他の無職者」等を足し合わせたものです。

※ 「4. 原因・動機」は、

令和3年までは、遺書等の自殺を裏付ける資料により明らかに推定できる原因・動機を自殺者一人につき3つまで計上可能としていたが、

令和4年からは、家族等の証言から考えうる場合も含め、自殺者一人につき4つまで計上可能としている。

このため、原因・動機特定者数と原因・動機の件数の和は一致するとは限らない。

図表2-10 年齢階級別自殺死亡率の推移

	～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～
平成26年	0.0	4.6	20.8	21.2	23.0	27.1	23.9	24.7	25.5
平成27年	0.0	4.7	18.6	19.5	21.9	25.5	21.7	24.4	24.7
平成28年	0.0	4.5	17.8	18.3	19.7	23.5	19.7	21.4	21.8
平成29年	0.0	5.0	17.6	17.9	19.4	22.8	18.8	20.2	21.1
平成30年	0.0	5.3	17.0	17.6	18.6	22.3	18.2	19.8	20.8
令和元年	0.0	5.9	16.7	17.4	18.4	21.0	17.9	18.4	19.1
令和2年	0.0	7.0	19.8	18.4	19.5	20.5	17.8	18.6	20.0
令和3年	0.0	6.8	20.7	18.4	20.0	21.2	17.3	18.4	18.5
令和4年	0.0	7.4	19.6	18.6	21.1	23.4	18.5	18.3	20.2
令和5年	0.0	7.5	19.8	19.3	21.5	23.4	18.9	17.8	18.8

※ 自殺死亡率は、人口10万人当たりの自殺者数である。

※ 人口は、総務省「人口推計」による。

・令和2年以前の人口：「我が国の推計人口（大正9年～平成12年）」及び「長期時系列データ（平成12年～令和2年）」

・令和3年から令和4年の人口：「各年10月1日現在人口」

・令和5年の人口：「各月1日現在人口」（令和5年10月概算値）

図表2-11 職業別自殺者数の推移

	有職者	学生・生徒等	無職者	不詳
平成26年	9,004	874	15,163	386
平成27年	8,479	835	14,322	389
平成28年	7,862	791	12,874	370
平成29年	7,877	817	12,280	347
平成30年	7,930	812	11,776	322
令和元年	7,612	888	11,345	324
令和2年	8,008	1,039	11,718	316
令和3年	7,990	1,031	11,639	347
令和4年	8,576	1,063	11,775	467
令和5年	8,858	1,019	11,466	494

図表2-12 自殺の原因・動機の推移

	家庭問題	健康問題	経済・生活問題	勤務問題	男女問題	学校問題	その他
平成26年	3,644	12,920	4,144	2,227	875	372	1,351
平成27年	3,641	12,145	4,082	2,159	801	384	1,342
平成28年	3,337	11,014	3,522	1,978	764	319	1,148
平成29年	3,179	10,778	3,464	1,991	768	329	1,172
平成30年	3,147	10,423	3,432	2,018	715	354	1,081
令和元年	3,039	9,861	3,395	1,949	726	355	1,056
令和2年	3,128	10,195	3,216	1,918	799	405	1,221
令和3年	3,200	9,860	3,376	1,935	797	370	1,302

	家庭問題	健康問題	経済・生活問題	勤務問題	交際問題	学校問題	その他
令和4年	4,775	12,774	4,697	2,968	828	579	1,734
令和5年	4,708	12,403	5,181	2,875	877	524	1,776

※ 自殺の多くは多様かつ複合的な原因及び背景を有しており、様々な要因が連鎖する中で起きている。

※ 自殺の原因・動機について、令和3年までは、遺書等の自殺を裏付ける資料により明らかに推定できる原因・動機を自殺者一人につき3つまで計上可能としていたが、令和4年からは、家族等の証言から考えうる場合も含め、自殺者一人につき4つまで計上可能としている。

図表2-13 自殺者数及び自殺死亡率の推移

区分 年次別	自殺者			自殺死亡率		
	総数	男性	女性	総数	男性	女性
昭和53年	20,788	12,859	7,929	18.0	22.7	13.6
昭和54年	21,503	13,386	8,117	18.5	23.4	13.8
昭和55年	21,048	13,155	7,893	18.0	22.8	13.3
昭和56年	20,434	12,942	7,492	17.3	22.3	12.5
昭和57年	21,228	13,654	7,574	17.9	23.4	12.6
昭和58年	25,202	17,116	8,086	21.1	29.1	13.3
昭和59年	24,596	16,508	8,088	20.4	27.9	13.2
昭和60年	23,599	15,624	7,975	19.5	26.3	13.0
昭和61年	25,524	16,497	9,027	21.0	27.6	14.6
昭和62年	24,460	15,802	8,658	20.0	26.3	13.9
昭和63年	23,742	14,934	8,808	19.3	24.8	14.1
平成元年	22,436	13,818	8,618	18.2	22.8	13.7
平成2年	21,346	13,102	8,244	17.3	21.6	13.1
平成3年	21,084	13,242	7,842	17.0	21.7	12.4
平成4年	22,104	14,296	7,808	17.7	23.4	12.3
平成5年	21,851	14,468	7,383	17.5	23.6	11.6
平成6年	21,679	14,560	7,119	17.3	23.7	11.2
平成7年	22,445	14,874	7,571	17.9	24.2	11.8
平成8年	23,104	15,393	7,711	18.4	24.9	12.0
平成9年	24,391	16,416	7,975	19.3	26.6	12.4
平成10年	32,863	23,013	9,850	26.0	37.1	15.3
平成11年	33,048	23,512	9,536	26.1	37.9	14.8
平成12年	31,957	22,727	9,230	25.2	36.6	14.2
平成13年	31,042	22,144	8,898	24.4	35.6	13.7
平成14年	32,143	23,080	9,063	25.2	37.0	13.9
平成15年	34,427	24,963	9,464	27.0	40.0	14.5
平成16年	32,325	23,272	9,053	25.3	37.3	13.8
平成17年	32,552	23,540	9,012	25.5	37.8	13.8
平成18年	32,155	22,813	9,342	25.1	36.6	14.3
平成19年	33,093	23,478	9,615	25.8	37.6	14.7
平成20年	32,249	22,831	9,418	25.2	36.6	14.3
平成21年	32,845	23,472	9,373	25.7	37.6	14.3
平成22年	31,690	22,283	9,407	24.7	35.8	14.3
平成23年	30,651	20,955	9,696	24.0	33.7	14.8
平成24年	27,858	19,273	8,585	21.8	31.0	13.1
平成25年	27,283	18,787	8,496	21.4	30.3	13.0
平成26年	25,427	17,386	8,041	20.0	28.1	12.3
平成27年	24,025	16,681	7,344	18.9	27.0	11.3
平成28年	21,897	15,121	6,776	17.2	24.5	10.4
平成29年	21,321	14,826	6,495	16.8	24.0	10.0
平成30年	20,840	14,290	6,550	16.4	23.2	10.1
令和元年	20,169	14,078	6,091	15.9	22.9	9.4
令和2年	21,081	14,055	7,026	16.7	22.9	10.8
令和3年	21,007	13,939	7,068	16.7	22.8	11.0
令和4年	21,881	14,746	7,135	17.5	24.3	11.1
令和5年	21,837	14,862	6,975	17.6	24.6	10.9

※ 自殺死亡率は、人口10万人当たりの自殺者数である。

※ 人口は、総務省「人口推計」による。
 ・令和2年以前の人口：「我が国の推計人口（大正9年～平成12年）」及び「長期時系列データ（平成12年～令和2年）」
 ・令和3年から令和4年の人口：「各年10月1日現在人口」
 ・令和5年の人口：「各月1日現在人口」（令和5年10月概算値）

図表2-14 年齢階級別自殺者数の推移

	~9歳	10~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳~	不詳	合計
昭和53年		866	3,741	3,597	3,641	2,753			6,024	166	20,788
昭和54年		919	3,654	3,808	3,796	2,977			6,163	186	21,503
昭和55年		678	3,261	3,791	3,911	3,138			6,166	103	21,048
昭和56年		620	2,777	3,653	3,996	3,304			5,985	99	20,434
昭和57年		599	2,832	3,787	4,284	3,616			6,025	85	21,228
昭和58年		657	3,050	4,099	5,460	4,846			7,004	86	25,202
昭和59年		572	2,737	3,855	5,290	4,912			7,147	83	24,596
昭和60年		557	2,548	3,519	4,936	4,815			7,143	81	23,599
昭和61年		802	2,824	3,687	4,948	5,385			7,794	84	25,524
昭和62年		577	2,588	3,447	4,696	5,129			7,943	80	24,460
昭和63年		603	2,479	3,180	4,459	4,886			8,044	91	23,742
平成元年		534	2,357	2,865	4,202	4,296			8,075	107	22,436
平成2年		467	2,226	2,543	3,982	4,176			7,853	99	21,346
平成3年		454	2,215	2,391	3,953	4,423			7,576	72	21,084
平成4年		524	2,313	2,391	4,186	4,708			7,912	70	22,104
平成5年		446	2,251	2,473	4,146	4,846			7,525	164	21,851
平成6年		580	2,494	2,410	3,806	4,732			7,438	219	21,679
平成7年		515	2,509	2,467	3,999	5,031			7,739	185	22,445
平成8年		492	2,457	2,501	4,147	5,013			8,244	250	23,104
平成9年		469	2,534	2,767	4,200	5,422			8,747	252	24,391
平成10年		720	3,472	3,614	5,359	7,898			11,494	306	32,863
平成11年		674	3,475	3,797	5,363	8,288			11,123	328	33,048
平成12年		598	3,301	3,685	4,818	8,245			10,997	313	31,957
平成13年		586	3,095	3,622	4,643	7,883			10,891	322	31,042
平成14年		502	3,018	3,935	4,813	8,462			11,119	294	32,143
平成15年		613	3,353	4,603	5,419	8,614			11,529	296	34,427
平成16年		589	3,247	4,333	5,102	7,772			10,994	288	32,325
平成17年		608	3,409	4,606	5,208	7,586			10,894	241	32,552
平成18年		623	3,395	4,497	5,008	7,246			11,120	266	32,155
平成19年		548	3,309	4,767	5,096	7,046	5,710	3,909	2,488	220	33,093
平成20年		611	3,438	4,850	4,970	6,363	5,735	3,697	2,361	224	32,249
平成21年	0	565	3,470	4,794	5,261	6,491	5,958	3,671	2,405	230	32,845
平成22年	1	551	3,240	4,596	5,165	5,959	5,908	3,673	2,401	196	31,690
平成23年	2	620	3,304	4,455	5,053	5,375	5,547	3,685	2,429	181	30,651
平成24年	1	586	3,000	3,781	4,616	4,668	4,976	3,661	2,411	158	27,858
平成25年	2	545	2,801	3,705	4,589	4,484	4,716	3,785	2,533	123	27,283
平成26年	2	536	2,684	3,413	4,234	4,181	4,325	3,508	2,457	87	25,427
平成27年	1	553	2,352	3,087	4,069	3,979	3,973	3,451	2,459	101	24,025
平成28年	1	519	2,235	2,824	3,739	3,631	3,626	2,983	2,262	77	21,897
平成29年	0	567	2,213	2,703	3,668	3,593	3,339	2,926	2,256	56	21,321
平成30年	0	599	2,152	2,597	3,498	3,575	3,079	2,998	2,290	52	20,840
令和元年	0	659	2,117	2,526	3,426	3,435	2,902	2,917	2,134	53	20,169
令和2年	0	777	2,521	2,610	3,568	3,425	2,795	3,026	2,305	54	21,081
令和3年	1	749	2,611	2,554	3,575	3,618	2,637	3,009	2,214	39	21,007
令和4年	2	796	2,483	2,545	3,665	4,093	2,765	2,994	2,490	48	21,881
令和5年	0	810	2,521	2,587	3,625	4,194	2,798	2,901	2,370	31	21,837

図表2-15 小中高生の自殺者数の推移

	合計	小学生	中学生	高校生
昭和55年	289	12	73	204
昭和56年	300	13	88	199
昭和57年	295	12	81	202
昭和58年	306	10	102	194
昭和59年	251	10	79	162
昭和60年	263	12	92	159
昭和61年	401	16	133	252
昭和62年	263	10	77	176
昭和63年	290	15	89	186
平成元年	240	7	81	152
平成2年	225	7	52	166
平成3年	195	6	55	134
平成4年	245	16	91	138
平成5年	195	5	65	125
平成6年	286	14	87	185
平成7年	253	8	71	174
平成8年	244	10	77	157
平成9年	243	12	62	169
平成10年	339	17	102	220
平成11年	319	13	84	222
平成12年	279	10	93	176
平成13年	287	11	78	198
平成14年	233	5	54	174
平成15年	318	10	83	225
平成16年	284	10	70	204
平成17年	288	7	66	215
平成18年	315	14	81	220
平成19年	274	8	51	215
平成20年	308	9	74	225
平成21年	306	1	79	226
平成22年	287	7	76	204
平成23年	353	13	71	269
平成24年	336	8	78	250
平成25年	320	8	98	214
平成26年	330	18	99	213
平成27年	349	6	102	241
平成28年	320	12	93	215
平成29年	357	11	108	238
平成30年	369	7	124	238
令和元年	399	8	112	279
令和2年	499	14	146	339
令和3年	473	11	148	314
令和4年	514	17	143	354
令和5年	513	13	153	347

図表2-16 職業別自殺者数

	総数	男性	女性		総数	男性	女性
自殺者	21,837	14,862	6,975	(有職者)	8,858	7,063	1,795
有職者							
管理的職業従事者	2,006	1,806	200	農林漁業従事者			
議員・知事・課長以上の公務員	27	23	4	農林漁業従事者	111	92	19
会社・公団等の役員	285	247	38	生産工程従事者	1,006	896	110
会社・公団等の部・課長	107	103	4	輸送・精密機械工	117	106	11
小売店自営者	94	83	11	機械工(輸送・精密を除く)	207	196	11
不動産業自営者	61	46	15	金属加工工	167	159	8
飲食店自営者	150	122	28	食品・衣料品製造工	137	109	28
農林漁業自営者	271	247	24	その他の生産工程従事者	378	326	52
製造業自営者	95	89	6	輸送・機械運転従事者	378	367	11
土木・建築業自営者	378	371	7	自動車運転従事者	242	239	3
その他の自営者	538	475	63	その他の輸送従事者	112	104	8
専門的・技術的職業従事者	1,044	752	292	機械運転従事者	24	24	0
研究者	12	11	1	建設・採掘従事者	718	707	11
情報処理・通信技術者	108	96	12	建設職人・配管工	247	242	5
医師	43	34	9	土木建設労務作業者	349	348	1
歯科医師	19	15	4	電気工事従事者	120	115	5
獣医師	6	4	2	採掘従事者	2	2	0
薬剤師	21	14	7	通信・運搬・清掃・包装等従事者	487	398	89
保健師	1	0	1	通信従事者	52	46	6
助産師	0	0	0	運搬従事者	169	160	9
看護師(准看護師を含む)	97	26	71	清掃従事者	107	64	43
その他の保健医療従事者	98	54	44	包装従事者	18	13	5
社会福祉専門職業従事者	52	30	22	その他の運搬・清掃・包装等従事者	141	115	26
弁護士	10	9	1	その他			
公認会計士	4	4	0	その他	630	476	154
税理士	13	10	3	学生・生徒等	1,019	572	447
デイトレーダー・FXトレーダー	7	7	0	未就学児	0	0	0
小中高等学校教員	58	49	9	小学生	13	5	8
特別支援学校教員	4	1	3	中学生	153	73	80
大学教員	14	9	5	高校生(全日制)	214	123	91
その他の教員	37	16	21	高校生(定時制・通信制)	114	48	66
著述家	2	1	1	高校生(特別支援学校)	9	5	4
記者・編集者	4	3	1	高校生(その他・不詳)	10	5	5
美術家・デザイナー・写真家・映像撮影者	29	17	12	大学生(学部)	375	235	140
芸能人	11	8	3	大学生(夜間学部)	1	1	0
プロスポーツ選手	4	4	0	大学生(その他・不詳)	34	21	13
その他の専門的・技術的職業従事者	390	330	60	予備校生	9	6	3
事務従事者				専修学校生等(予備校生を除く)	87	50	37
事務員	570	301	269	無職者	11,466	6,827	4,639
販売従事者	644	464	180	主婦	1,040	0	1,040
販売店員	304	171	133	主夫	18	18	0
露店・行商・廃品回収	6	3	3	失業者(離職後3か月未満)	395	305	90
営業職業従事者	195	176	19	失業者(離職後3か月以上)	557	450	107
その他の販売従事者	139	114	25	失業者(離職時期不詳)	189	146	43
サービス職業従事者	1,026	576	450	利子・配当・家賃等生活者	34	17	17
介護サービス職業従事者	205	114	91	年金受給者(老齢・遺族給付)	4,405	2,764	1,641
美容師・理容師	33	20	13	年金受給者(障害給付)	514	292	222
調理人・バーテンダー	55	39	16	雇用保険受給者	47	31	16
飲食店店員	199	97	102	生活保護受給者	831	537	294
ホステス・ホスト	47	5	42	ホームレス	22	20	2
遊技場等店員	32	20	12	その他の無職者(ひきこもり)	869	606	263
その他のサービス職業従事者	455	281	174	その他の無職者(ひきこもり以外)	2,545	1,641	904
保安職業従事者	238	228	10	不詳			
自衛官	58	56	2	不詳	494	400	94
警察官・海上保安官・看守・消防員等	76	72	4				
その他の保安職業従事者	104	100	4				